

文部科学省委託事業令和6年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」『地域中小企業と連携によるIT担当者育成・採用促進モデル開発と普及推進事業』

「専門学校生地域就職意識調査（アンケート調査）」

報告書

学校法人 YIC 学院

目次

1. 事業の目的
2. 調査の趣旨および目的
3. 調査結果
 - 3.1 調査概要と方法
 - 3.2 集計結果
4. 総評

付録

専門学校生地域就職意識調査（アンケート調査）質問項目

1. 事業の目的

経済財政運営と改革の基本方針 2023（令和 5 年 6 月 16 日閣議決定）において、成長分野への学部再編や先端技術に対応した高専教育の高度化などによる学びの転換の促進、未来を支える高度専門人材を育成する専門学校等の機能強化が重要課題として指摘されている。

一方、民間調査では、IT 関連製品・サービスを提供する IT ベンダーやユーザ企業の情報システム部門で活躍する IT 人材が 2030 年には 45 万人不足するとの試算もあり、地方における IT 人材不足への対応も急務である。特に、2024 年問題も重なり、働き盛りの若者人口が少ない地方都市では、コロナ禍後の経済活動活発化に伴い人材不足が深刻化している。こうした中、山口県中小企業家同友会では、会員企業の人材不足解消に向け、山口県と連携して採用強化に取り組んでいる。また、山口県は産業活性化・人口減少対策として、魅力ある働き先としての企業誘致にも力を入れている。誘致企業にとって人材採用・育成は大きな魅力となるため、地域密着型の職業教育機関との連携が不可欠である。

本事業では、以上のような地域ニーズに応えるため、中小企業で働くために必要とされる「汎用的かつ多様な能力・スキルを強みとし、協働的な働き方で ICT 技術を駆使して積極的に課題解決に取り組める人材」を育成する学科（以下、「新学科」）を構築することを目指す。

2. 調査の趣旨および目的

上記のような事業計画の下で、現役の専門学校生が、中小企業が多くを占める地域（地元）での就職にどのようなイメージを抱いているかを把握することは、新学科のカリキュラム開発におけるキャリア教育や就職支援のあり方を検討していくために有用である。また、ICT（IT）に関わる知識やスキルの習得にかかわって、専門学校生がそれぞれの所属校においてどのような学びを経験しているのかを捉えることも重要である。以上のことをふまえつつ、本調査では、専門学校生の地域就職への意識、就職活動を把握し、カリキュラム開発の中でもキャリア教育・就職スキームの開発知見を得ることを目的とする。そのうえで、専門学校生の将来に対する希望や不安を理解し、キャリアカウンセリングに役立てていく。

3. 調査結果

3.1 調査概要と方法

調査は、2024年11月20日から12月11日にかけて、Microsoft Forms を利用して実施した。対象は、本事業に関与する3つの学校法人に属する4つの学校の一部の学科である。それぞれの学科に所属するすべての学生を対象とした。

調査項目は、付録に示すとおりである。調査の実施にあたっては、①回答はあくまで任意であり途中で拒否することもできること、②収集したデータのうち個人情報は取り扱わないこと、③個人がわからないように統計的処理を行うこと、④本事業にかかわる目的以外の利用はしないことを事前に説明・明示し、同意する場合のみアンケートへ回答してもらった。

3.2 集計結果

以下に本調査の結果を示す。

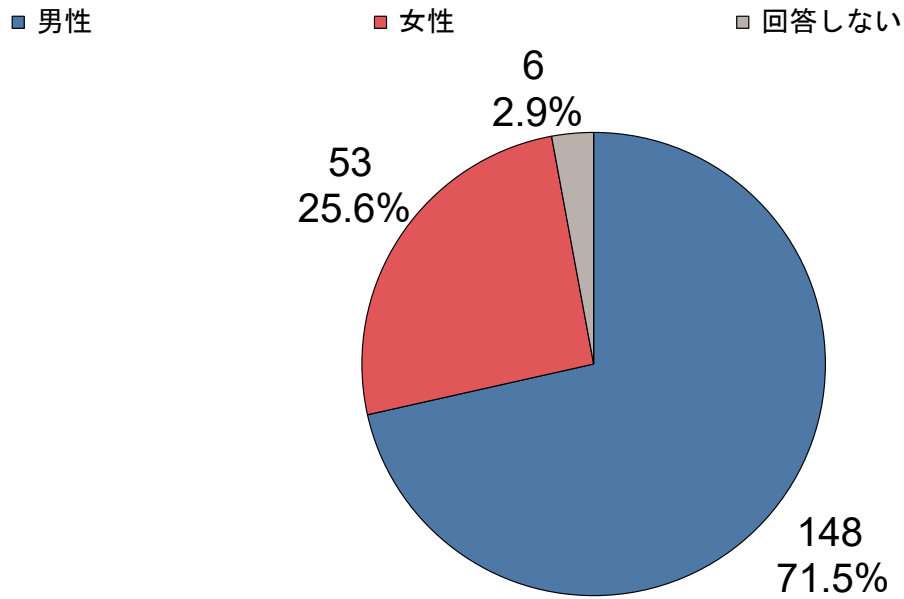
なお、問4「以下のうち、専門学校以外に卒業・修了したことがある学校種をすべてお答えください」については、集計の結果、選択肢の「高等専門学校」を「専修学校専門課程（専門学校）」とを混同していると思われる回答が多くを占め、分析と解釈に支障をきたすと考えられることから本稿では掲載しないこととする。

また、問28および問29は、設問内容が問23および問24とほぼ同じものとなっていることから、こちらも分析と解釈に支障をきたさないように本稿では不掲載とする。

なお、自由記述項目については、「特になし」「なし」や「あ」「あああ」「、」などの意味のない記述は筆者の判断で削除している。

問1. あなたの性別をお答えください。

男性	148	71.5%
女性	53	25.6%
回答しない	6	2.9%
計	207	100%

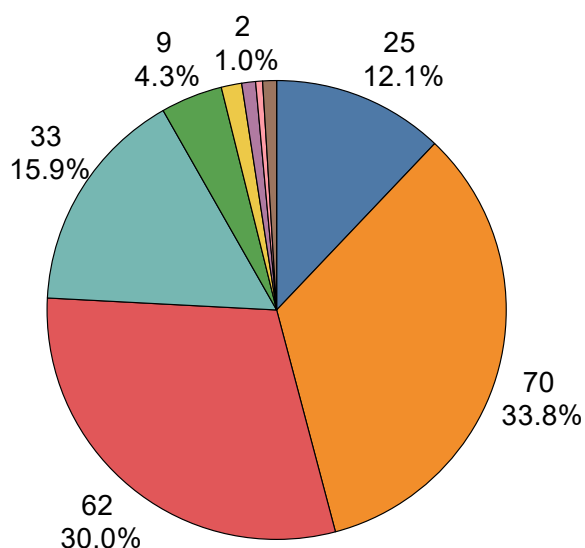


回答者は男性が71.5%、女性が25.6%、回答しないが2.9%であった。回答者の多くが工業系分野の所属であることが影響していると思われる。

問2. あなたの年齢をお答えください。

18 歳	25	12.1%
19 歳	70	33.8%
20 歳	62	30.0%
21 歳	33	15.9%
22 歳	9	4.3%
23 歳	3	1.4%
26 歳	2	1.0%
28 歳	1	0.5%
未回答	2	1.0%
計	207	100%

■ 18 ■ 19 ■ 20 ■ 21 ■ 22 ■ 23 ■ 26 ■ 28 ■ 未回答

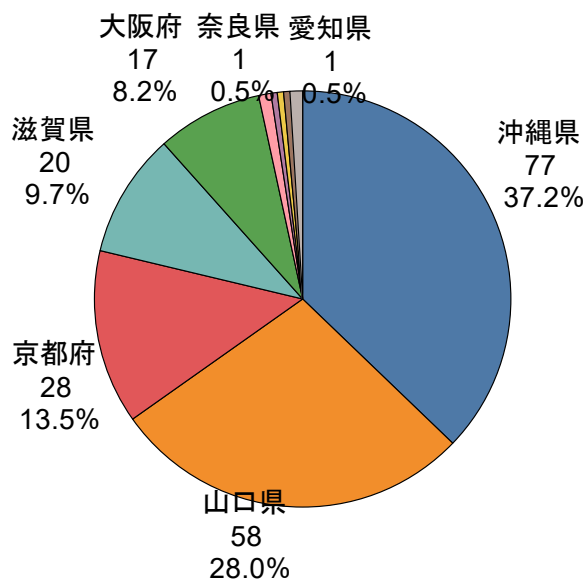


回答者のほとんどが、高校卒業後にblankなく専門学校へと進学したと思われる18歳～22歳であった(96.1%)。23歳以上の者は6名とほとんどいなかった。

問3：現在の居住地（都道府県）をお答えください。

沖縄県	77	37.2%
山口県	58	28.0%
京都府	28	13.5%
滋賀県	20	9.7%
大阪府	17	8.2%
兵庫県	2	1.0%
三重県	1	0.5%
奈良県	1	0.5%
愛知県	1	0.5%
回答しない	2	1.0%
計	207	100%

■ 沖縄県 ■ 京都府 ■ 大阪府 ■ 三重県 ■ 愛知県
■ 山口県 ■ 滋賀県 ■ 兵庫県 ■ 奈良県 ■ 回答しない



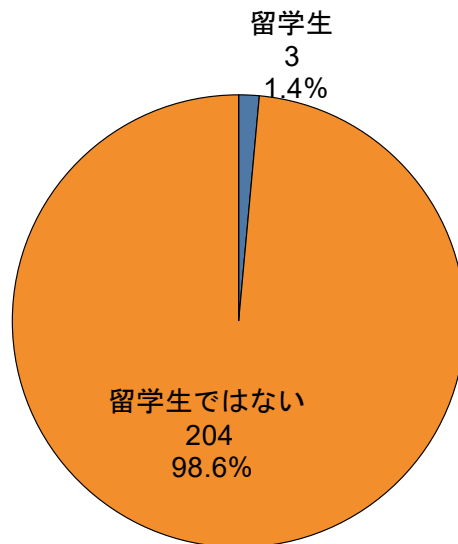
問6にて後述する各学校の所在県に該当する沖縄県（37.2%）、山口県（28.0%）、京都府（13.5%）が大半を占めていたが、滋賀県（9.7%）や大阪府（8.2%）など京都府近隣に所在している者も一部見られた。

問 5. あなたは留学生ですか。

留学生	3	1.4%
留学生ではない	204	98.6%
計	207	100%

■ 留学生

■ 留学生ではない



回答者のうち留学生は3名であり、ほとんどが日本人学生である（98.6%）。

問 6. 現在所属する専門学校名をお答えください。

YIC 京都工科自動車大学校	71	34.3%
YIC 情報ビジネス専門学校	58	28.0%
国際電子ビジネス専門学校	60	29.0%
エルケア医療保育専門学校	17	8.2%
回答しない	1	0.5%
計	207	100%

YIC 京都工科自動車大学校に所属する回答者が最も多く（34.3%）、以後、国際電子ビジネス専門学校（29.0%）、YIC 情報ビジネス専門学校（28.0%）、エルケア医療保育専門学校（8.2%）と続く。

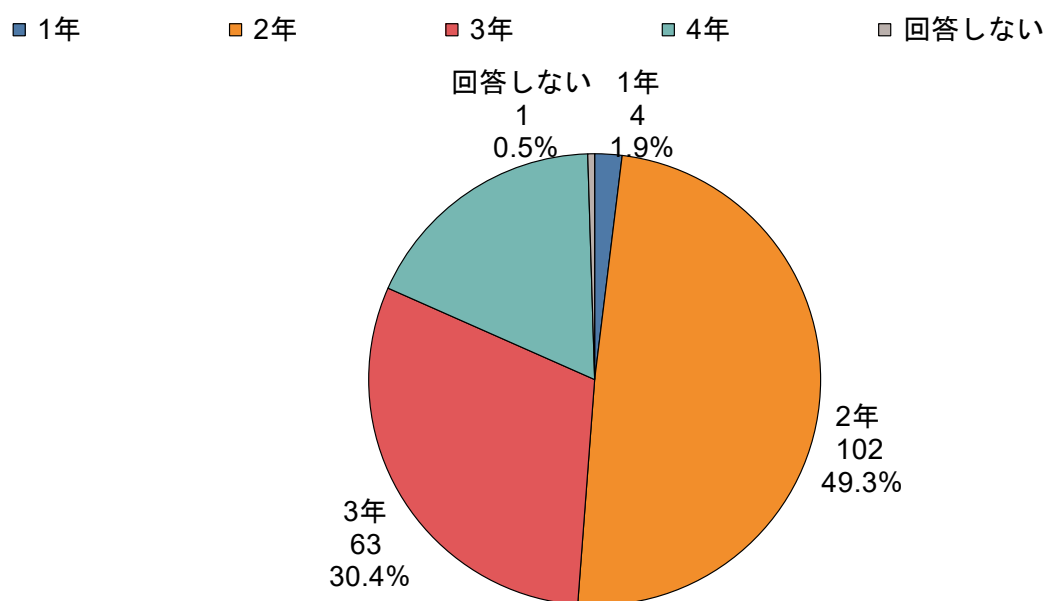
問 7. 学科名をお答えください。

YIC 京都工科自動車大学校	一級自動車整備科	34	16.4%
	四輪自動車整備科 四輪コース	35	16.9%
	自動車整備科 二輪コース	2	1.0%
YIC 情報ビジネス専門学校	メディアデザイン科	4	1.9%
	情報ビジネス科	14	6.8%
	情報工学科	40	19.3%
エルケア医療保育専門学校	医薬品スペシャリスト科	9	4.4%
	医療福祉ビジネス科	8	3.9%
国際電子ビジネス専門学校	ICT マネジメント科	24	11.6%
	IT エンジニア科 グラフィック・デザインコース	36	17.4%
回答しない	回答しない	1	0.5%
計		207	100%

回答者全体のうち、最も大きな比率を占めているのはYIC 情報ビジネス専門学校の情報工学科[3年制]（19.3%）であった。なお、本項目への回答は自由記述であり、正確な学科名を記載していない回答も見られたが、所属学校（問 6）の情報をもとに筆者の判断でマージした。

問 8. 何年制の課程に所属していますか。

1年	4	1.9%
2年	102	49.3%
3年	63	30.4%
4年	37	17.9%
回答しない	1	0.5%
計	207	100%

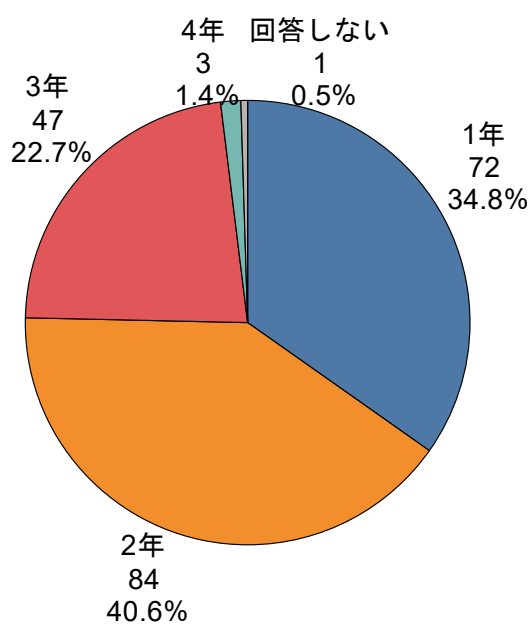


最も多かったのは2年生課程（49.3%）であり、3年制課程（30.4%）、4年制課程（17.9%）と続いた。なお、1年制と回答した者が4名いるが、問6および問7で見た学校はいずれも2年生課程以上であるため、誤って選択したものと思われる。

問 9. 現在何年生ですか。

1年	72	34.8%
2年	84	40.6%
3年	47	22.7%
4年	3	1.4%
回答しない	1	0.5%
計	207	100%

■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 回答しない

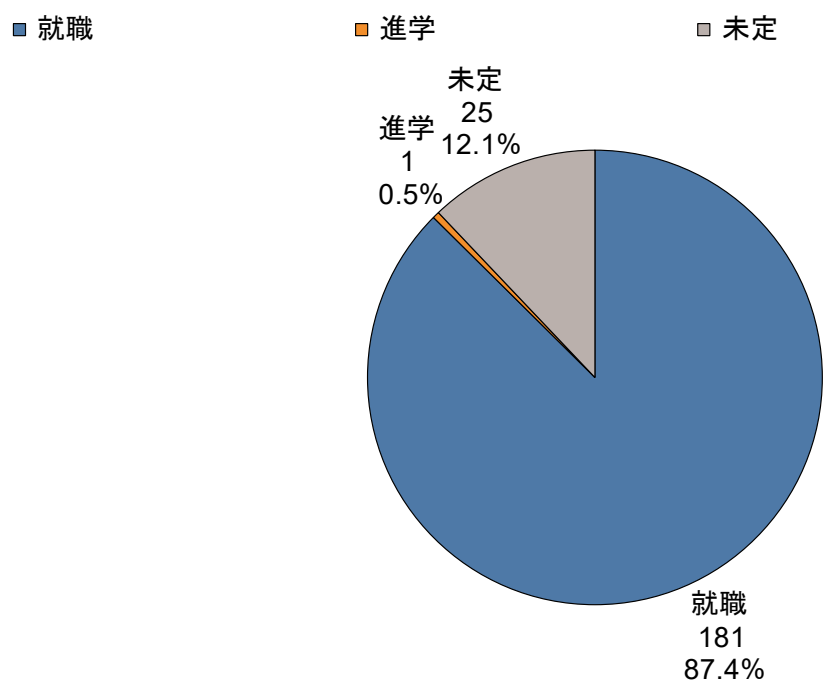


最も多かったのは2年生（40.6%）であり、1年生（34.8%）、3年生（22.7%）と続いた。問8で見たように4年生課程所属者が一定数いたものの、最終学年にあたる回答者はほとんどいなかった。

問 10. 現在希望する進路を教えてください。

就職	181	87.4%
進学	1	0.5%
未定	25	12.1%
計	207	100%

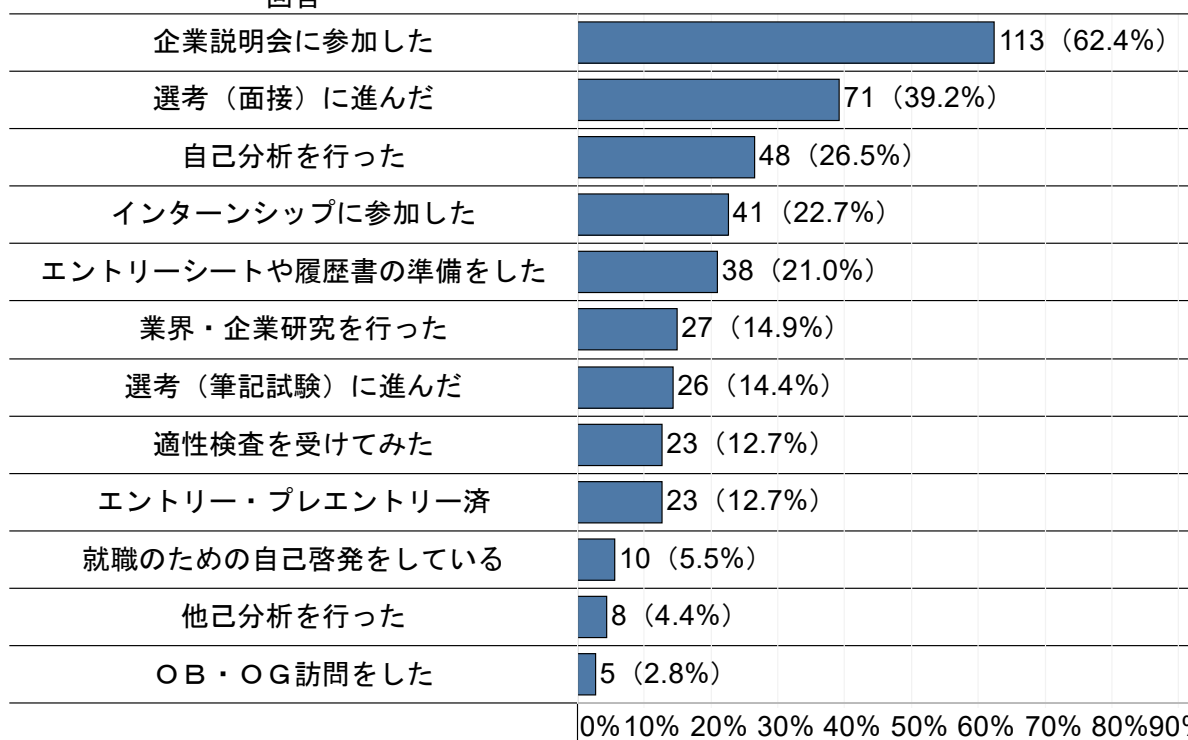
回答者のほとんどが就職を希望しており（87.4%）であり、進学を検討している者はほとんどいなかった。



問 11. 問 10 で「就職」を選んだ方にお聞きします。現在のあなたの就職活動の状況を教えてください。

企業説明会に参加した	113	62.4%
選考（面接）に進んだ	71	39.2%
自己分析を行った	48	26.5%
インターンシップに参加した	41	22.7%
エントリーシートや履歴書の準備をした	38	21.0%
業界・企業研究を行った	27	14.9%
選考（筆記試験）に進んだ	26	14.4%
適性検査を受けてみた	23	12.7%
エントリー・プレエントリー済	23	12.7%
就職のための自己啓発をしている	10	5.5%
他己分析を行った	8	4.4%
OB・OG訪問をした	5	2.8%

回答

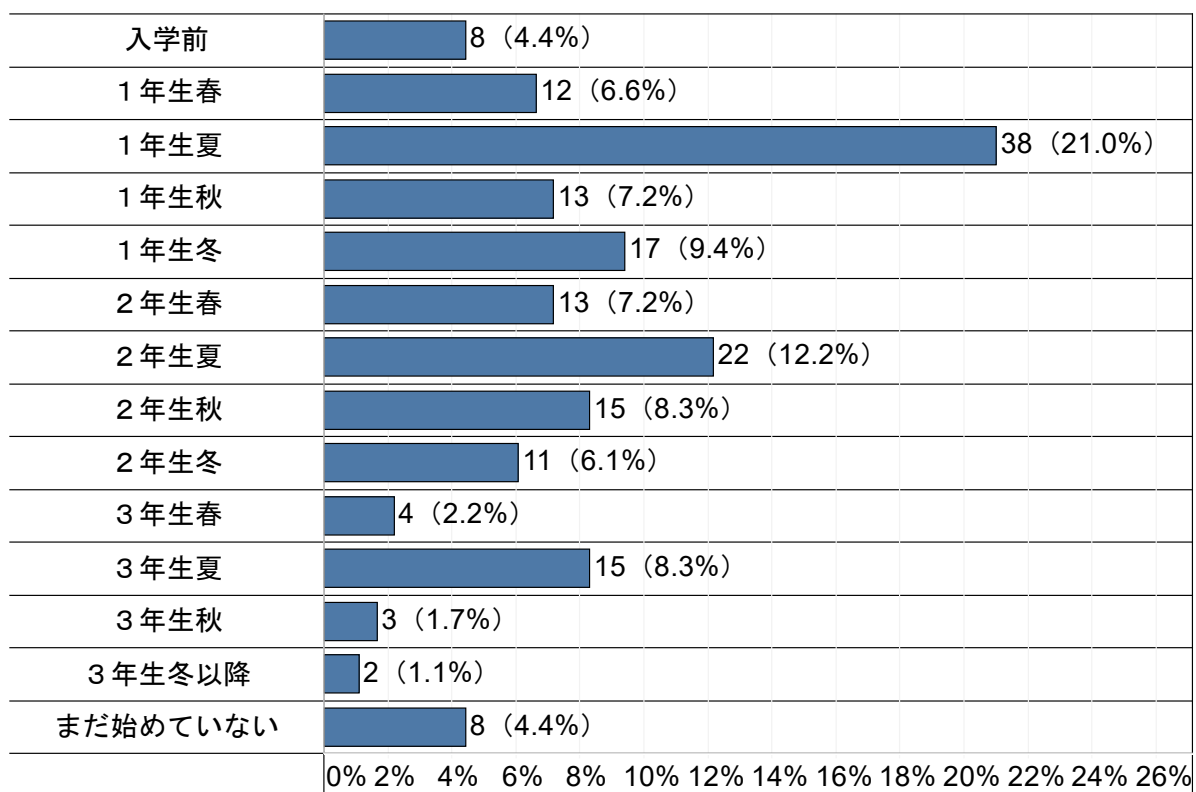


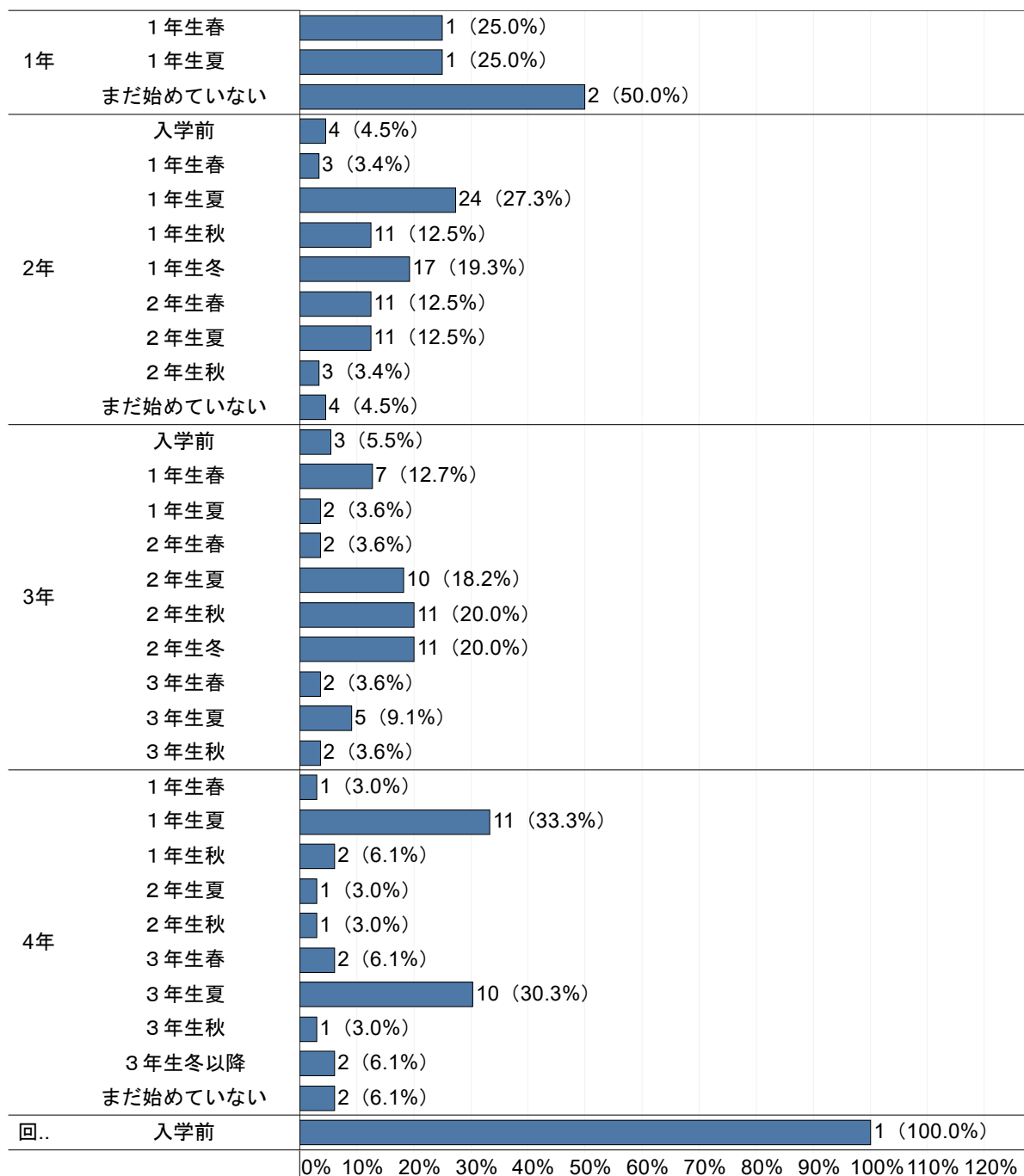
現在の就職活動の状況を見てみると、最も多かったのが「企業説明会に参加した」(62.4%)という段階であった。なお、本項目は複数回答であるため、より先のステップ（例えば「選考（筆記試験）に進んだ」「選考（面接）に進んだ」など）に進んでい

る者が、それ以前の段階もあてはまる状況として回答している可能性がある点に留意が必要である。また、問 40 にて指摘されているように、本項目にはすでに内定を得ている者を把握する選択肢が設けられていなかった。

問 12. 問 10 で「就職」を選んだ方にお聞きします。就職活動はいつから始めましたか。

入学前	8	4.4%
1年生春	12	6.6%
1年生夏	38	21.0%
1年生秋	13	7.2%
1年生冬	17	9.4%
2年生春	13	7.2%
2年生夏	22	12.2%
2年生秋	15	8.3%
2年生冬	11	6.1%
3年生春	4	2.2%
3年生夏	15	8.3%
3年生秋	3	1.7%
3年生冬以降	2	1.1%
まだ始めている	8	4.4%
計	181	100%

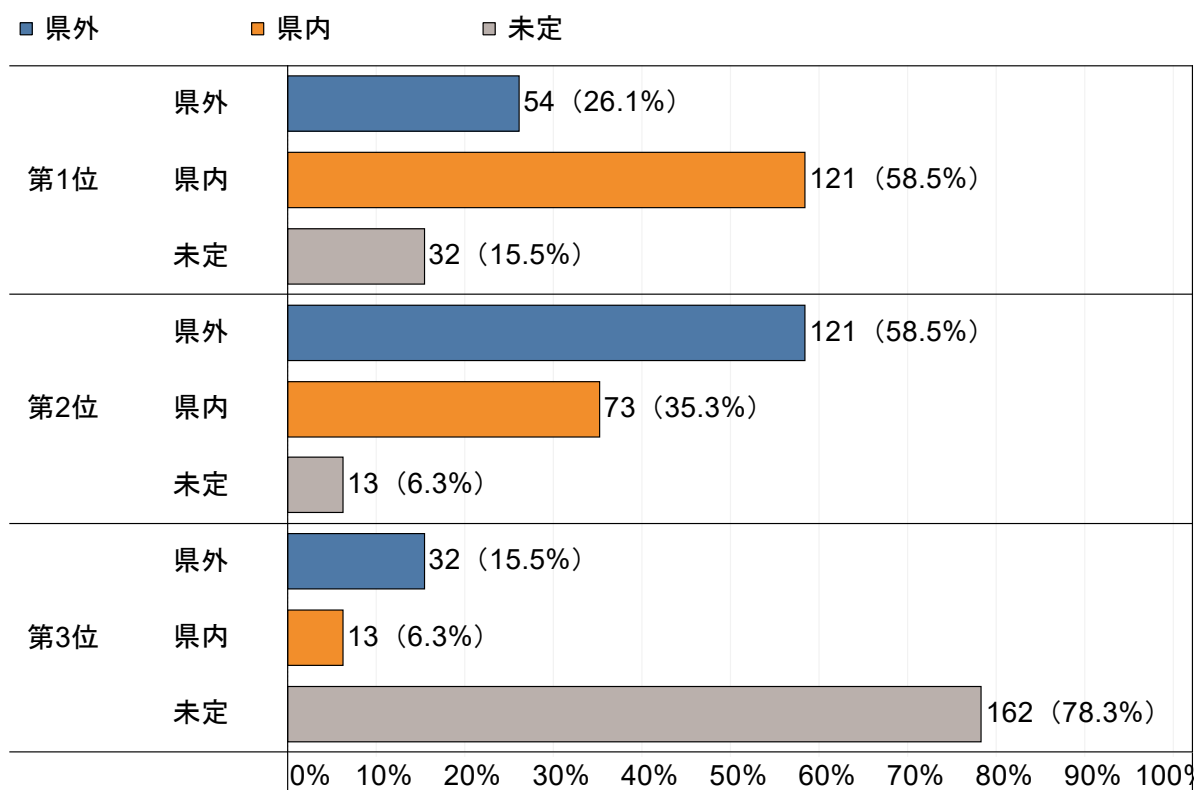




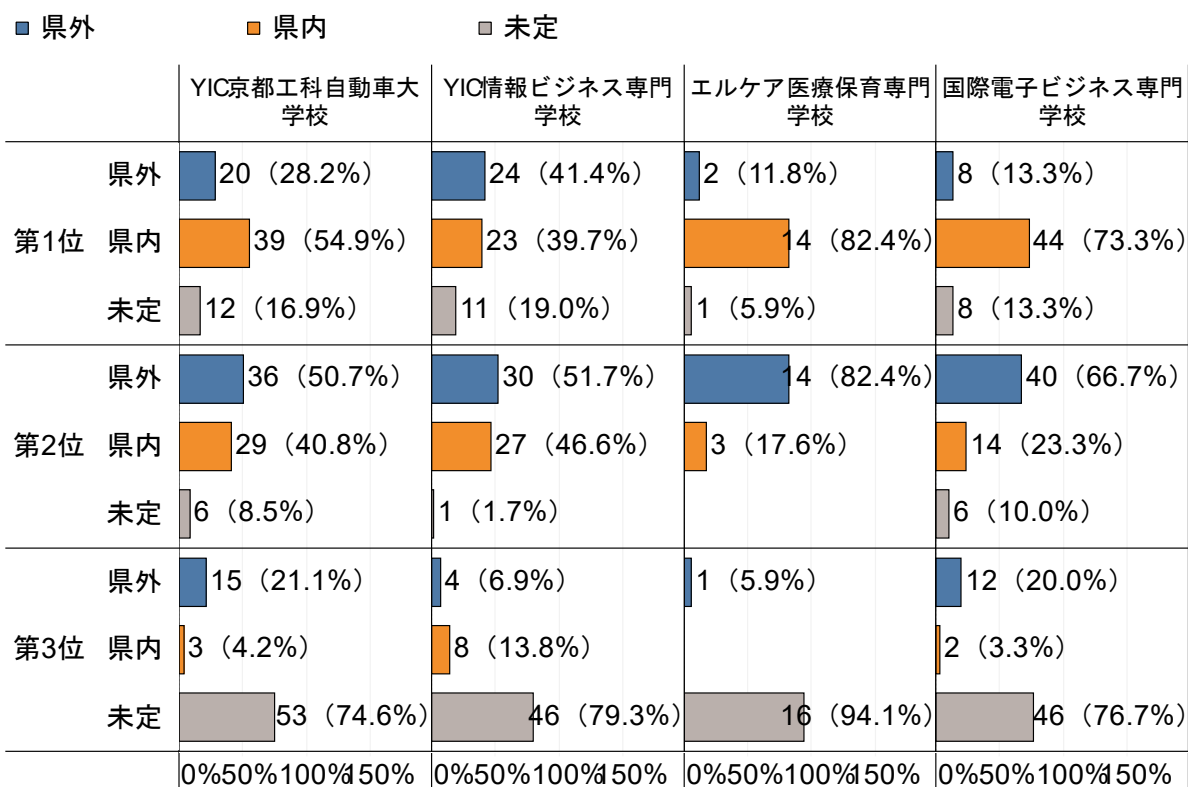
回答者の約半数が、2年生に上がるまでに就職活動を開始していることがわかる。課程別にみると、3年制課程では2年生になってから、4年生課程では3年生になってから開始する者が比較的多い。なお4年生課程においては約4割が1年生の段階から開始している。これは、業界的な特徴も関係していると思われる。

問 13. 現在希望する進路の場所はどこですか。

第1位	県外	54	26.1%
	県内	121	58.5%
	未定	32	15.5%
第2位	県外	121	58.5%
	県内	73	35.3%
	未定	13	6.3%
第3位	県外	32	15.5%
	県内	13	6.3%
	未定	162	78.3%



現在希望する進路の場所の優先順位を見てみると、最も優先度が高かったのは県内（58.5%）であった。一般的に専門学校は卒業後、「地元」に就職する比率が高いことが知られている（文部科学省 2021）が、その傾向は、希望段階である本調査においても示唆される。



これを学校別に見てみると、沖縄県に所在するエルケア医療保育専門学校と国際電子ビジネス専門学校では、どちらも県内を希望する者が非常に多いことがわかり特徴的である。一方、山口県に所在するYIC情報ビジネス専門学校では、わずかではあるが県外を希望する者が最も多くなっている。

問 14. 将来就職する場所はどこがいいですか。優先順位を教えてください。

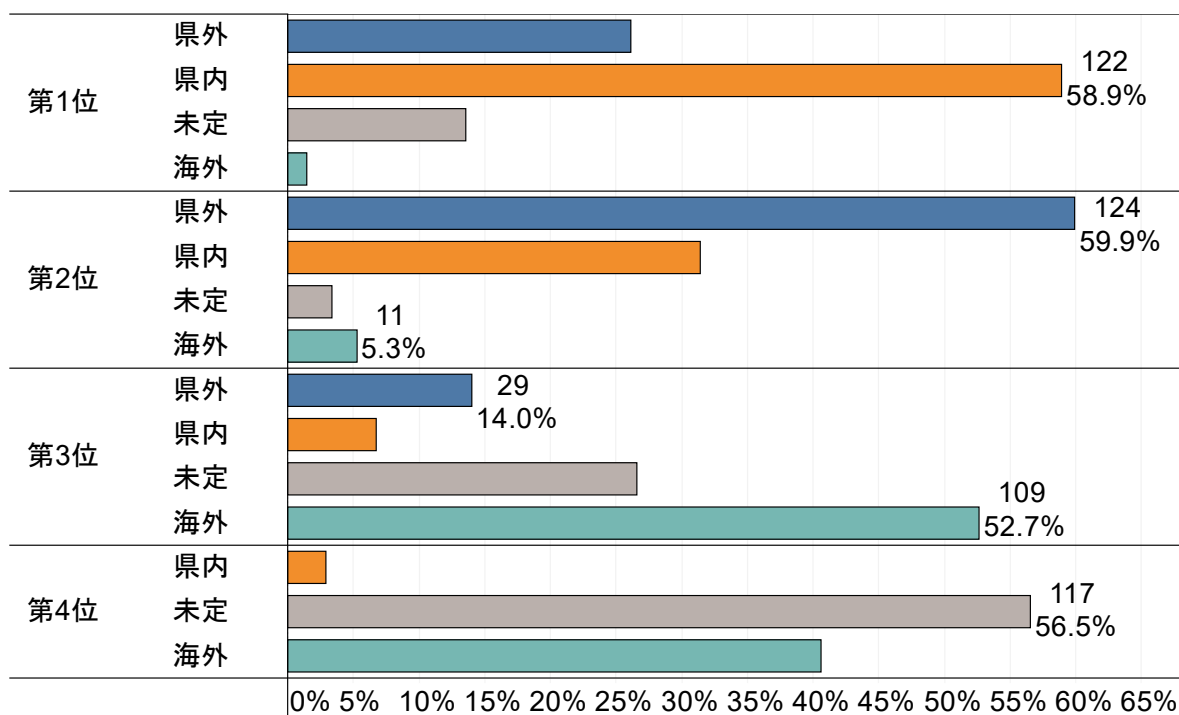
第 1 位	県外	県外	54	26.1%
	県内	県内	122	58.9%
	未定	未定	28	13.5%
	海外	海外	3	1.4%
第 2 位	県外	県外	124	59.9%
	県内	県内	65	31.4%
	未定	未定	7	3.4%
	海外	海外	11	5.3%
第 3 位	県外	県外	29	14.0%
	県内	県内	14	6.8%
	未定	未定	55	26.6%
	海外	海外	109	52.7%
第 4 位	県内	県内	6	2.9%
	未定	未定	117	56.5%
	海外	海外	84	40.6%

■ 海外

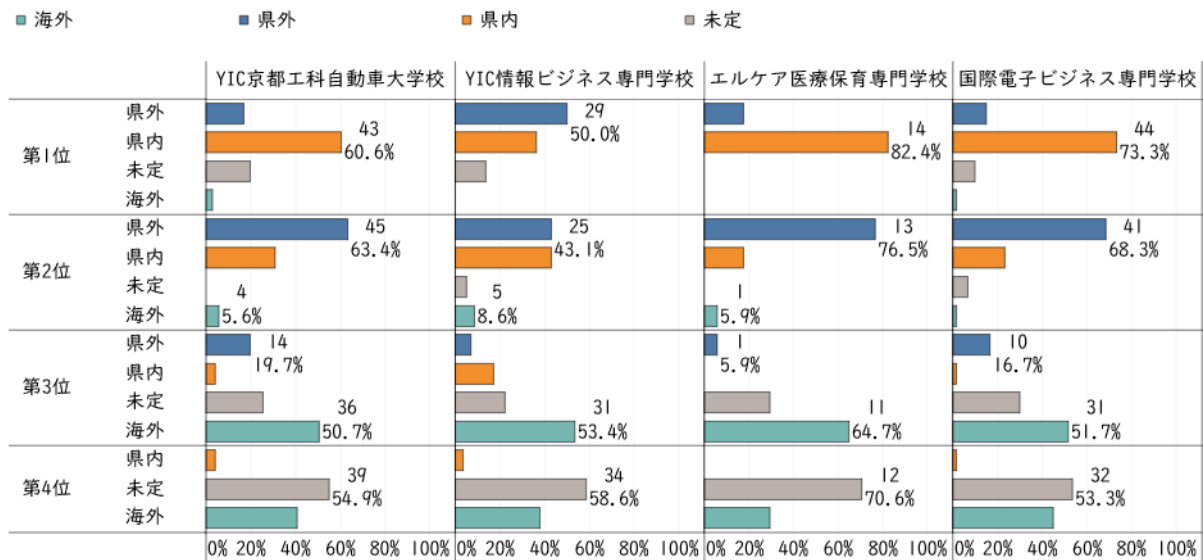
■ 県外

■ 県内

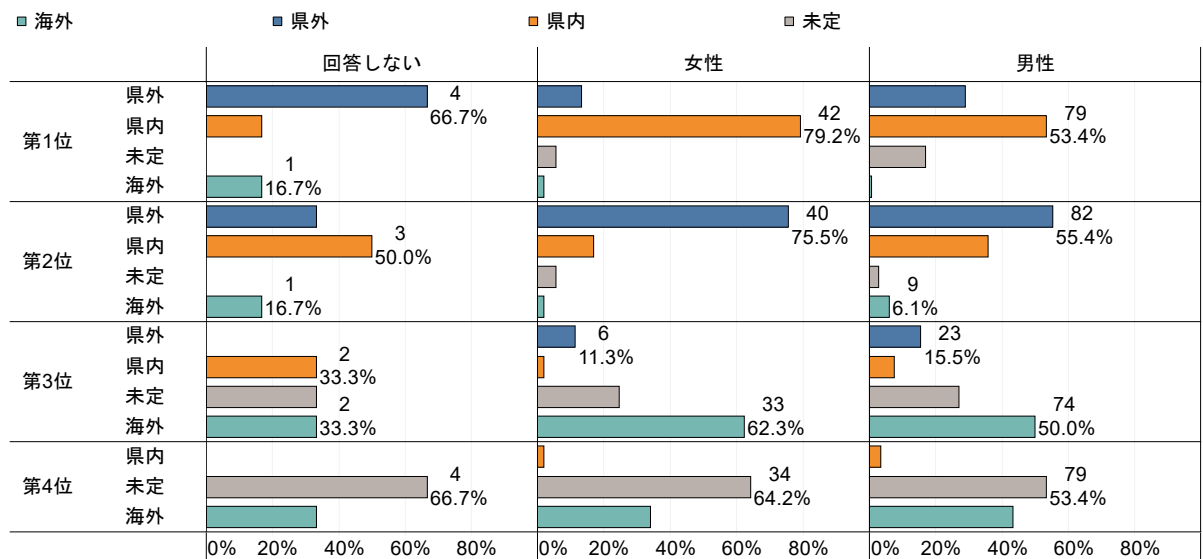
■ 未定



問 13 と同様に、就職希望地についても、最も優先順位が高いのは県内（58.9%）であった。一方、「海外」を優先的に選んだものは少数派であった。



これを学校別に見てみると、YIC 情報ビジネス専門学校（山口県）のみ、他校と異なり「県外」を第一希望の就職地としているものが最も多い（50.0%）という特徴がみられた。



さらに男女別でみてみると、男女とも「県内」を希望する者が最も多いが、その比率は女性の方でより高くなっている（男性 53.4%、女性 79.2%）という特徴がある。

問 15. 1 番に選んだ場所の理由を教えてください。

YIC 京都工科自 動車大学校	未定
	その他
	まだわからない
	まだ何も決まってない
	まだ決めていない
	まだ先が見えない
	一人暮らしがしたい
	一人暮らしができないから
	遠いのは続かないと思うから
	家から近いところに就職したいから
	家から近い方が良いからです
	楽しそう
	楽だから
	楽だから、最初の生活がしんどいから
	慣れ親しんだとこ
	慣れ親しんだ地域だから
	環境が良かったから
	気分
	給料がいい
	京都
	京都が好きだから
	京都に思い入れがないから
	京都は住むのに適してないから
	近いから
	近いに越したことはない
	近いほうが良いから
	近い方がよい
	近い方がよいから
	近くで働きたいから
	県外に出てみたい
	県外の企業の方が待遇が良いから。
	県内でしょ
	好き
	行きたいところが県外だから
行きやすいから	
行く企業次第	
滋賀	

	自宅から近い場所がいい
	自宅から通勤したいから。
	自分の知っている土地だから
	実家があるから
	実家が近いほうが良いから
	実家に近いほうがいいため
	実家の近く
	実家の近くがいいから
	住みやすい土地感がある通いやすい
	住居が県外だから
	設備が新しいから
	他社を知らないから
	大阪を出る理由がないから
	第一希望が県外だから
	知らないところが好きだから
	地元が一番住めば都
	地元だから
	地元になりたいから
	通える近さの方がいいから
	通勤しやすい
	通勤しやすさ
	通勤時間に時間がかからないため
	都会が好きだから
	働きやすそうだから
	特になし。
	日本は狭い
	配属先が未定のため
	未定だから
	無し
YIC 情報ビジネス専門学校	ITが発達しているから
	エンジニア企業が多いから
	これから決めていく予定
	デザイン会社が県内に少なく、自分の気になる会社が県内にあるか分からないため
	とくになし
	まだ決まっていないから
	まだ特に決めてないから

まだ分からないから
やりたい事が出来る会社に入りたいから
一人暮らしが大変だから
栄えてるから
何となく
家から近いから
街がさかえている場所で働きたいから
慣れているから
慣れてる土地が良かったから
給料
給料と待遇がいいから
近場の方が楽だから
県外に行くことが怖いから
県外に出たい
県外に出たいから
県外に出たくないから
県外の環境にも興味があるから
県外の方が待遇の良い企業が多いから
県外広島 彼女も広島だし何かとアクセスがいいから
県内がいいから
県内が狭く感じるから
県内で就職して活躍したいから
県内で働きたいから
県内は不便だから
県内より県外の方が有望な企業があるから
好きな都道府県に住んで仕事をしたいから。
山口からでたい
山口から出たいから。
山口が好きだから
山口県から離れたいから
山口県に就職したい会社がないから(今のところ)
山口県を出たいから
自立
自立して生活したい、宇部では IT の業種が少ないと思ったから
実家から近い方がいいから
実家に近い方が良いから
奨学金返済制度がある市があるため

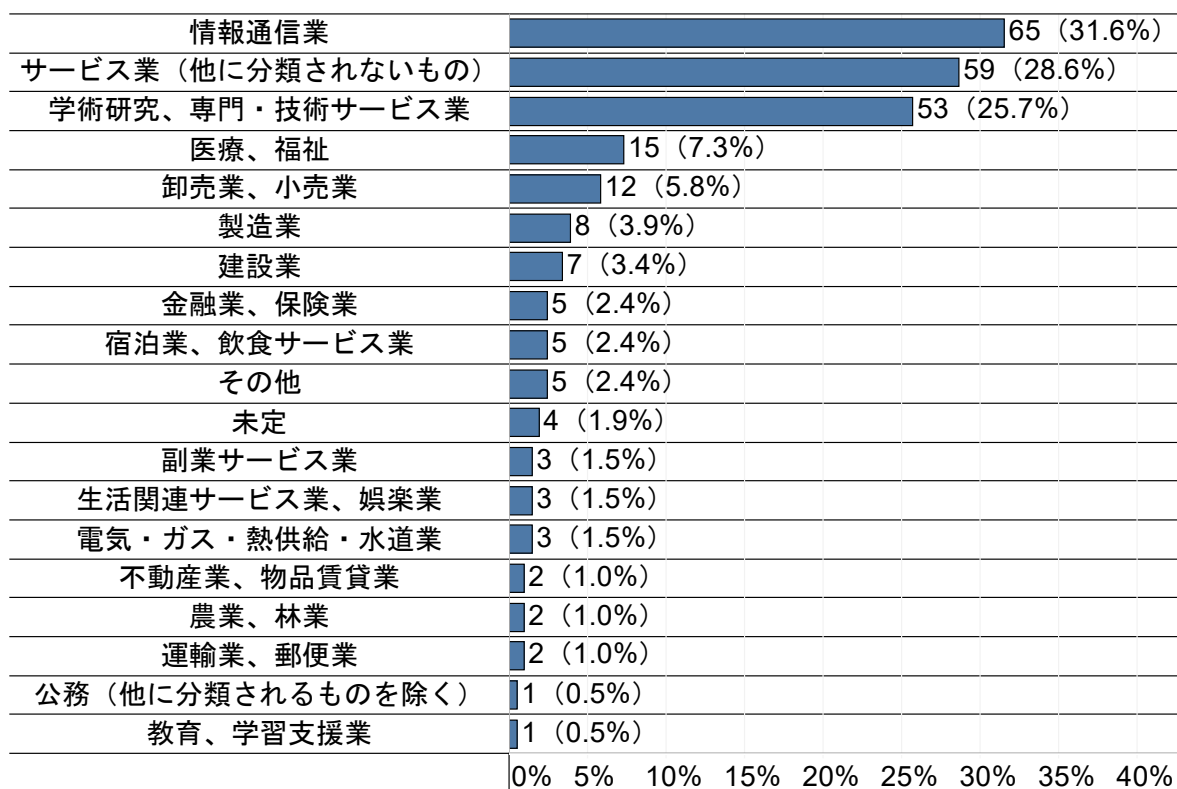
	場所より企業に注目したい
	親の希望
	生まれ育った土地がいいから
	地元が近いため
	地元で働きたいと思ったから
	通勤の時間を短縮したいから
	都会に出たいから
	東京付近に住みたいから
	特になし
	彼女と同棲するから
	幅広く仕事を見つけない
エルケア医療保育専門学校	安心だから
	沖縄だと安心して仕事できるから
	家から近い場所がいいから
	館内がいいから
	県外に住んでみたい
	県外や海外だと一人暮らしが大変そうだから
	県内の方が安心だから
	広い世界を見たい
	自分が住み慣れた場所だから。
	住み慣れたところがいい
	住み慣れた場所で働きたいから
	住み慣れているから
	奨学金返済のため
	地元の人達に役に立つ仕事をしたい
	通いやすさ
	独立、スキルアップ
	琉球大学病院の薬局で働きたいから。
国際電子ビジネス専門学校	未定
	おきなわがいいから
	しばらくは貯金をしたいため実家から通いたい
	すぐに一人暮らしを始められないから
	とりあえず外に出て周りを見たい
	まずは近くで経験を積みたいから
	まだ決まってない
	まだ決まってないです
	まだ決められていないから

まだ詳しく決めていないから
まだ悩んでいる
安心するから
安心できるから
安定して生活が出来ると思ったから
沖縄がいい
沖縄から出たくない
沖縄から離れたくないから
沖縄が好きだから。県外にいきなり行くのこわい
沖縄で良い。
沖縄にいたいから
沖縄の方が働きやすそう
家族や友人がいるから
慣れ親しんだ場所の方が安心して仕事ができると思ったから。
県外で挑戦してみたいから
県外に行った方が将来的に自分のためになるだろうから。
県外は考えられないから
県内の方が自分に合っている（環境など）
交通が便利だから
最初に就職する場所は県内が良いと思ったから
最初は慣れたての頃は県内のほうがいい
最初は県内で経験した方がいいと思う
私生活と仕事の両立が難しいから
実家から近いところで働きたいから。
実家から通いたいから
実家から通えるから。
住みなれているから
住みやすいから
住み慣れているから
推し活しやすい、給料
生活に慣れやすい
接客業を希望していたから
知っている土地なのと、沖縄が好きだから
地域貢献
地元が好きのため県内なるべく探したいため
地元だから
地元だから安心

	地元には知り合いがいるので、安心して生活を送ることができる。
	地元を離れたくないから
	特になし
	特になし
	特に決めていないため
	特に県外に対して目標がないから
	特に明確に決まっていないのでとりあえず県内で探してみようと思ったから
	内地に行きたいから
	馴染みがあるから
	不慣れな場所で新生活は不安があるため

問 16. 就職先として現在どんな業種を考えていますか。(複数選択)

情報通信業	65	31.6%
サービス業（他に分類されないもの）	59	28.6%
学術研究、専門・技術サービス業	53	25.7%
医療、福祉	15	7.3%
卸売業、小売業	12	5.8%
製造業	8	3.9%
建設業	7	3.4%
金融業、保険業	5	2.4%
宿泊業、飲食サービス業	5	2.4%
その他	5	2.4%
未定	4	1.9%
副業サービス業	3	1.5%
生活関連サービス業、娯楽業	3	1.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.5%
不動産業、物品賃貸業	2	1.0%
農業、林業	2	1.0%
運輸業、郵便業	2	1.0%
公務（他に分類されるものを除く）	1	0.5%
教育、学習支援業	1	0.5%

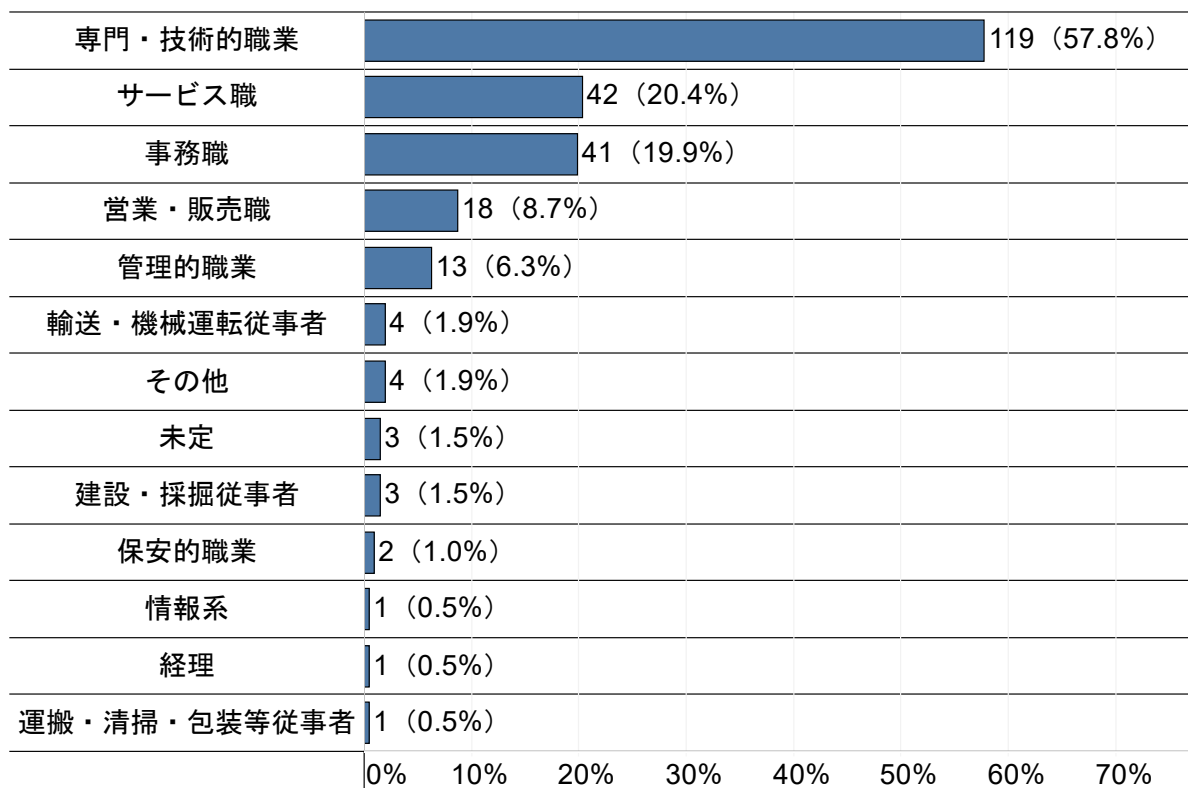


最も希望者が多い業界は「情報通信業」であった。これは、回答者の約6割が情報系分野に所属していることが影響していると思われる。また、2番目に多い「サービス業（ほかに分類されないもの）」には、「その他」を選択し具体的な内容として「自動車整備」や「カーディーラー」「デザイン系」などと記述している回答を含んでいる。

問 17. 将来の就職について現在どんな職種を考えていますか。（複数選択）

専門・技術的職業	119	57.8%
サービス職	42	20.4%
事務職	41	19.9%
営業・販売職	18	8.7%
管理的職業	13	6.3%
輸送・機械運転従事者	4	1.9%
その他	4	1.9%
未定	3	1.5%
建設・採掘従事者	3	1.5%
保安的職業	2	1.0%
情報系	1	0.5%

経理	1	0.5%
運搬・清掃・包装等従事者	1	0.5%



最も回答者が多かったのは「専門・技術的職業」(57.8%)であった。その他、サービス職(20.4%)や事務職(19.9%)を希望する者も見られた。

問 18. 具体的な職業名がある方は職業名を教えてください。

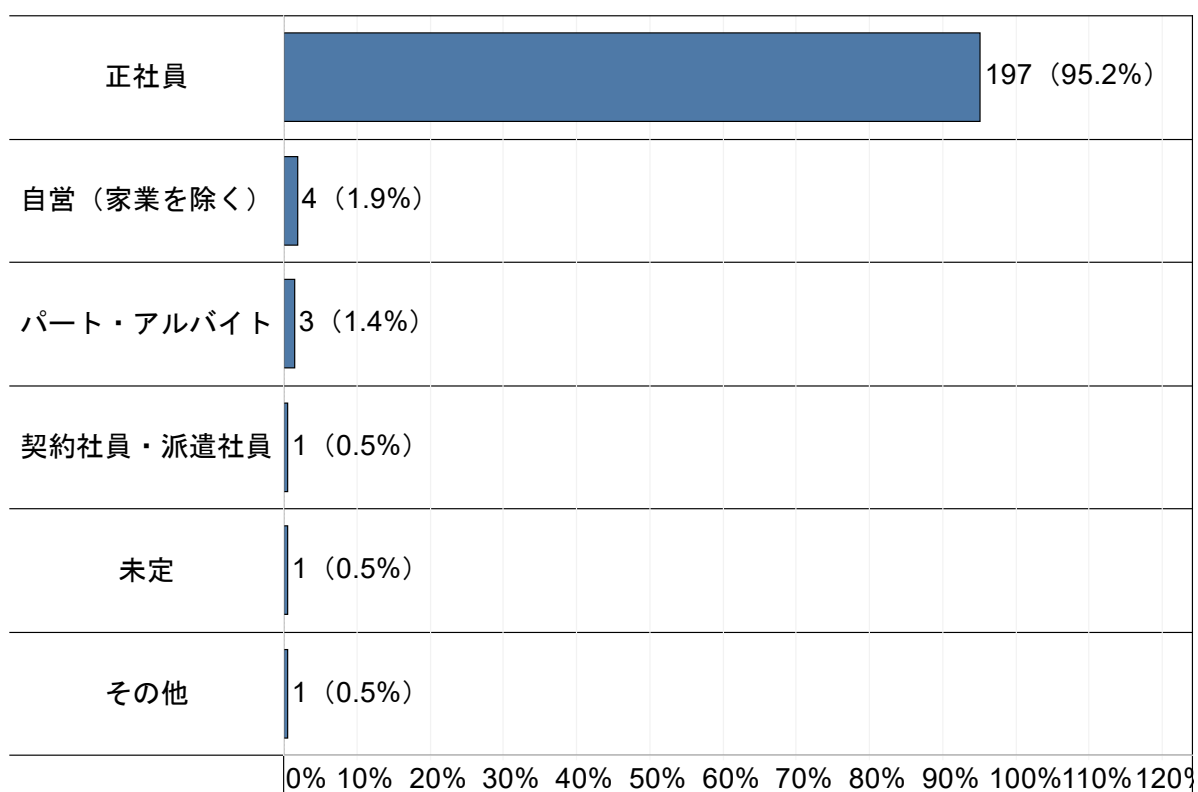
YIC 京都工科自動車大学 校	アルバイト
	サービス業(他に分類されないもの)
	その他
	トラックドライバー
	バイクの整備士
	バイク屋
	技術アジャスター
	自動車の整備士
	自動車開発者
	自分が好きに自由に働ける職業
	二輪の整備士
YIC 情報ビジネス専門学 校	IT エンジニア
	SE

	SE・PM
	SE、PG、CE
	WEBデザイナー
	アプリケーションエンジニア
	インフラエンジニア
	エンジニア
	カーディラー、彫り師、アパレル会社など
	カーディラーとアパレル
	サーバエンジニア
	システムエンジニア
	システムエンジニア、ネットワークエンジニア
	セキュリティエンジニア
	その他
	ディーピーティー株式会社
	プログラマー
	ユニクロ
	開発管理エンジニア
	極秘
	情報通信業
	動画制作
	不二輸送機株式会社
エルケア医療保育専門学校	未定
	その他
	医師事務作業補助者
	医薬品登録販売者
	医療事務
	調剤事務
	登録販売者
	登録販売者か調剤事務
国際電子ビジネス専門学校	未定
	DTPオペレーター
	DTPデザイナー
	Dオペレーター
	WEBコーダー
	WEBコーダー・DTPオペレーター
	WEBディレクター

WEB デザイナー
WEB デザイン
カメラマン
グラフィックデザイナー
サービス業（他に分類されないもの）
サンエー イオン
その他
デザイン、広告企画課
ハウスメーカーの営業
まだ未定
わからない
映像クリエイターまたは動画クリエイター
会社員
管理職
広告代理
接客業
未定です

問 19. 希望する勤務形態を選択してください。

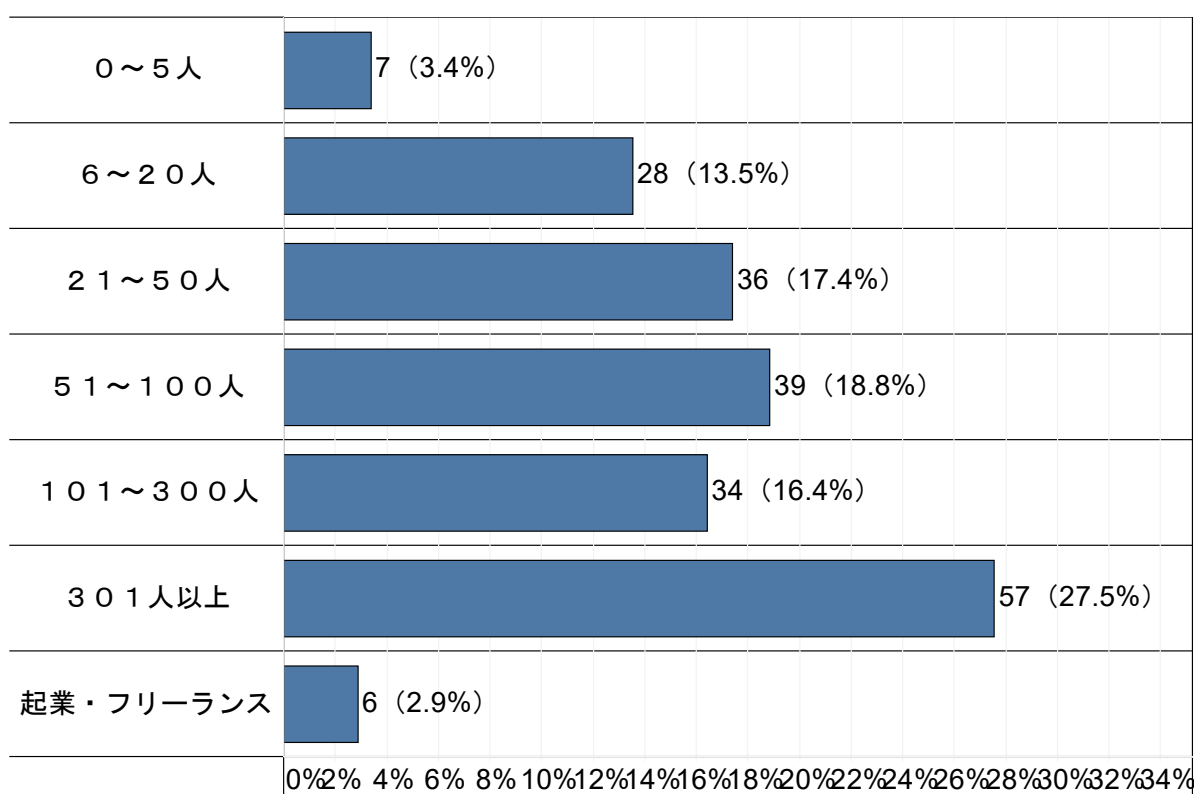
正社員	197	95.2%
自営（家業を除く）	4	1.9%
パート・アルバイト	3	1.4%
契約社員・派遣社員	1	0.5%
未定	1	0.5%
その他	1	0.5%
計	207	100%



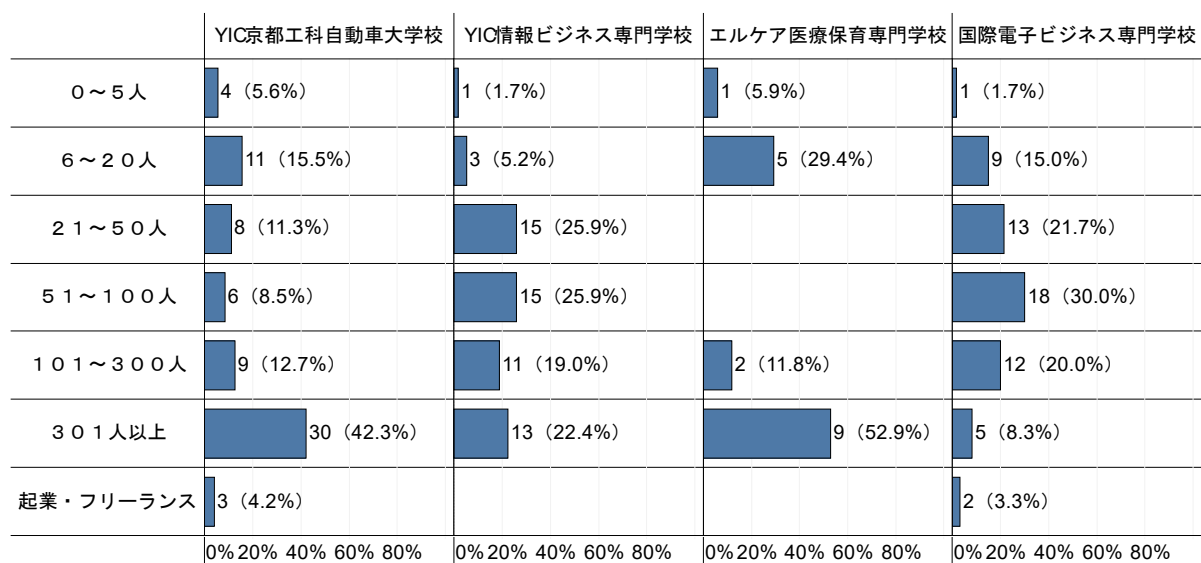
ほとんどの者が正社員での雇用を希望しており（95.2%）、パート・アルバイト（1.4%）や契約社員・派遣社員（0.5%）などの非正規雇用は少数にとどまっている。

問 20. 希望する事業規模（従業員数）を選択してください。

0～5人	7	3.4%
6～20人	28	13.5%
21～50人	36	17.4%
51～100人	39	18.8%
101～300人	34	16.4%
301人以上	57	27.5%
起業・フリーランス	6	2.9%
計	207	100%



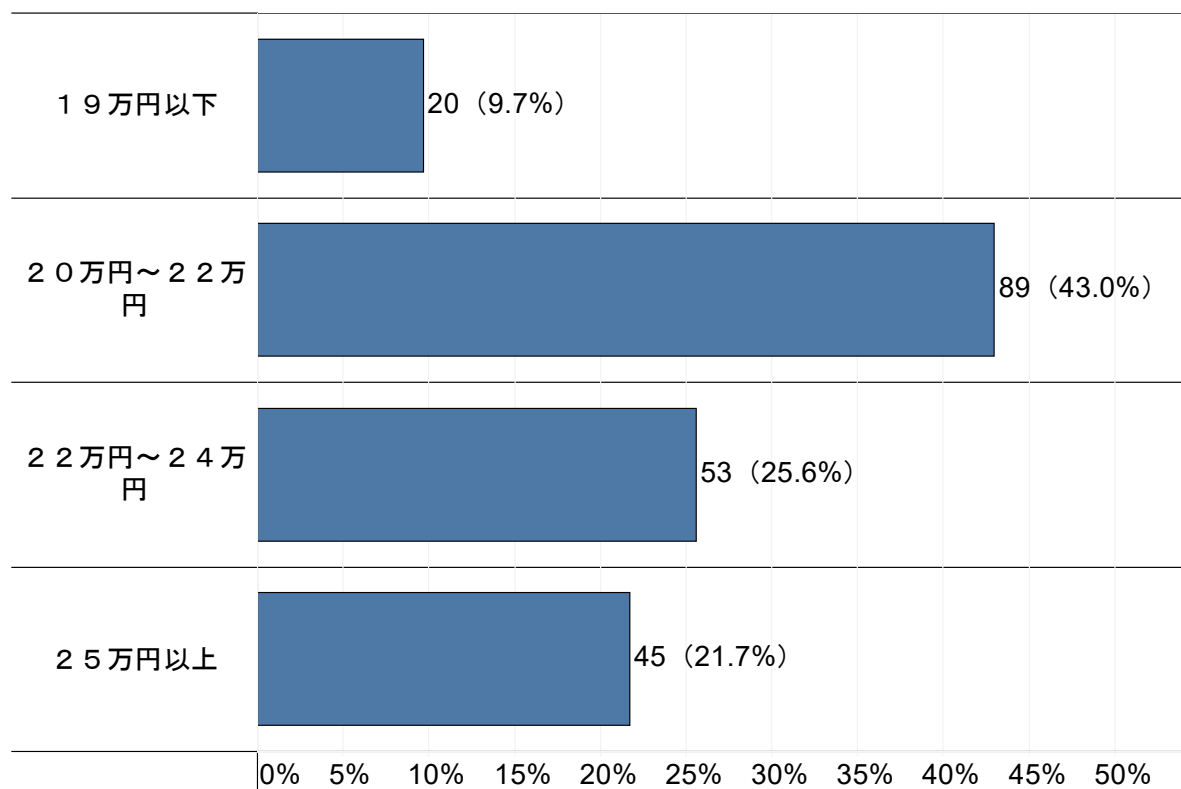
希望する企業規模として最も比率が高かったのは301人以上であった（27.5%）。小企業に当たる100人未満を希望しているのは、全体の34.3%であった。



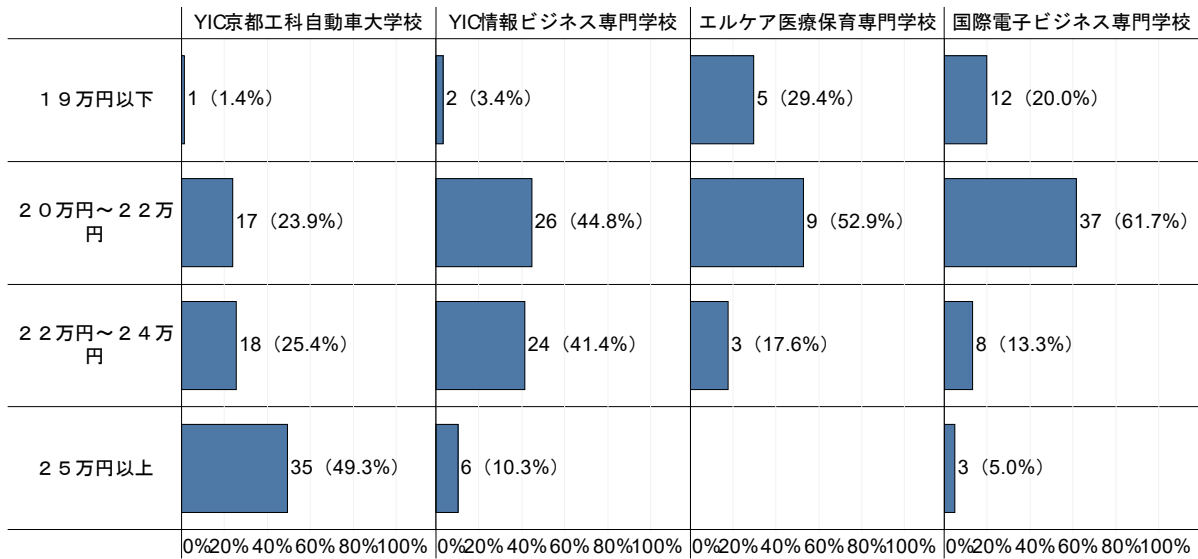
これを学校別に見てみると、自動車分野が中心の YIC 京都工科自動車大学校では「301人以上」の企業を希望している者が最も多い（42.3%）が、情報系分野が中心の YIC 情報ビジネス専門学校と国際電子ビジネス専門学校では、「51人～100人」および「21～50人」の比較的小規模の企業を希望している傾向が見られた。

問 21. 就職する際に希望する初任給はどれくらいですか。

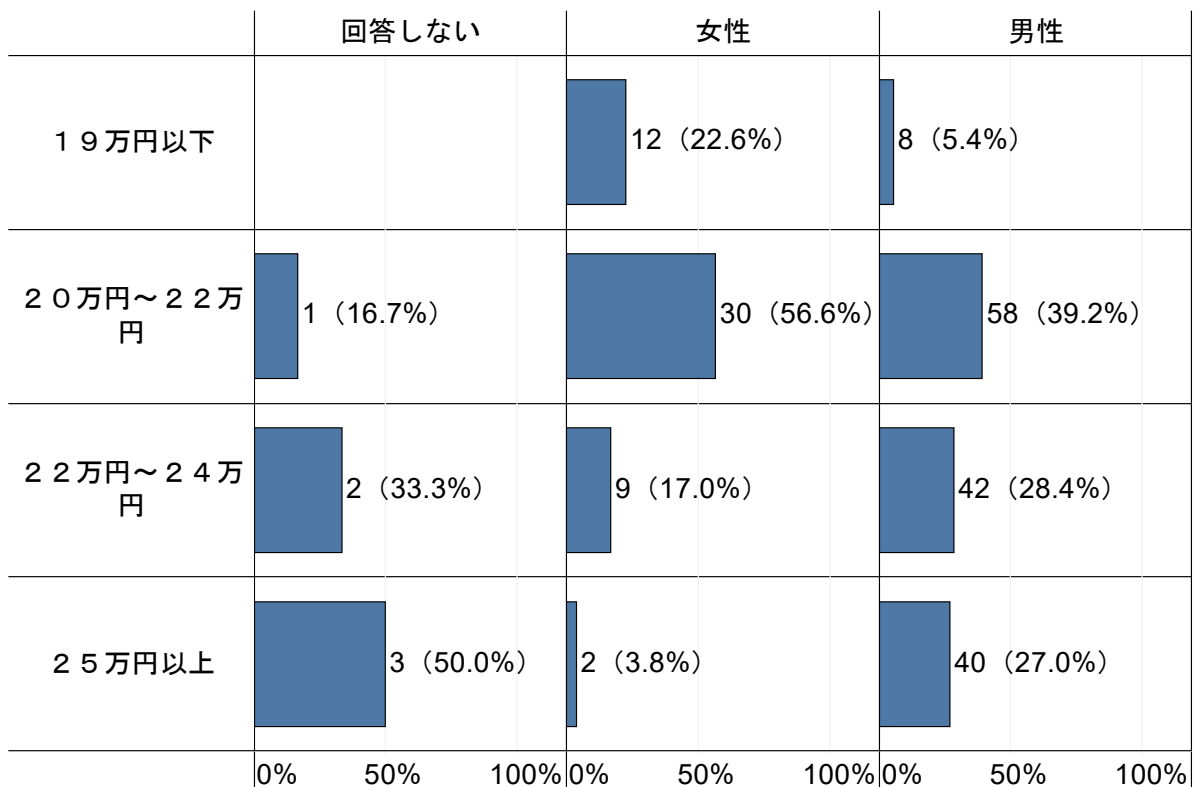
19万円以下	20	9.7%
20万円～22万円	89	43.0%
22万円～24万円	53	25.6%
25万円以上	45	21.7%
計	207	100%



希望する初任給として最も多かったのは、「20万円～22万円」(43.0%)であった。その後、「22万円～24万円」(25.6%)、「25万円以上」(21.7%)と続いている。「19万円以下」を選択した者は10%に満たなかった。



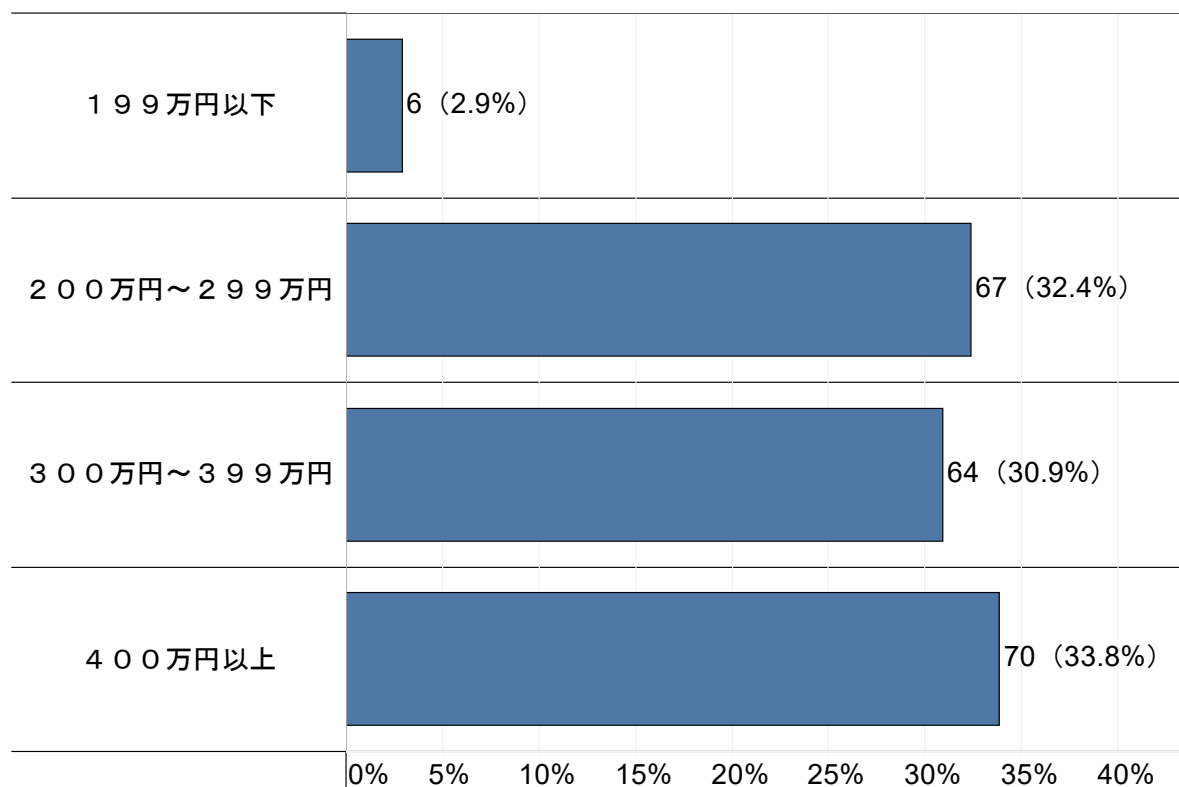
これを学校別に見てみると、YIC 京都工科自動車大学校では「25 万円以上」を選択した者の割合が約半数となっている（49.3%）。YIC 情報ビジネス専門学校では、「20 万円～22 万円」と「22 万円～24 万円」がほぼ同程度であり、エルケア医療保育専門学校と国際電子ビジネス専門学校では「20 万円～22 万円」を希望している者が最も多い。同じ情報系である YIC 情報ビジネス専門学校と国際電子ビジネス専門学校は希望する給与額に差が出ているが、これはそれぞれの学校が立地している地域的状況が背景にあると考えられる。



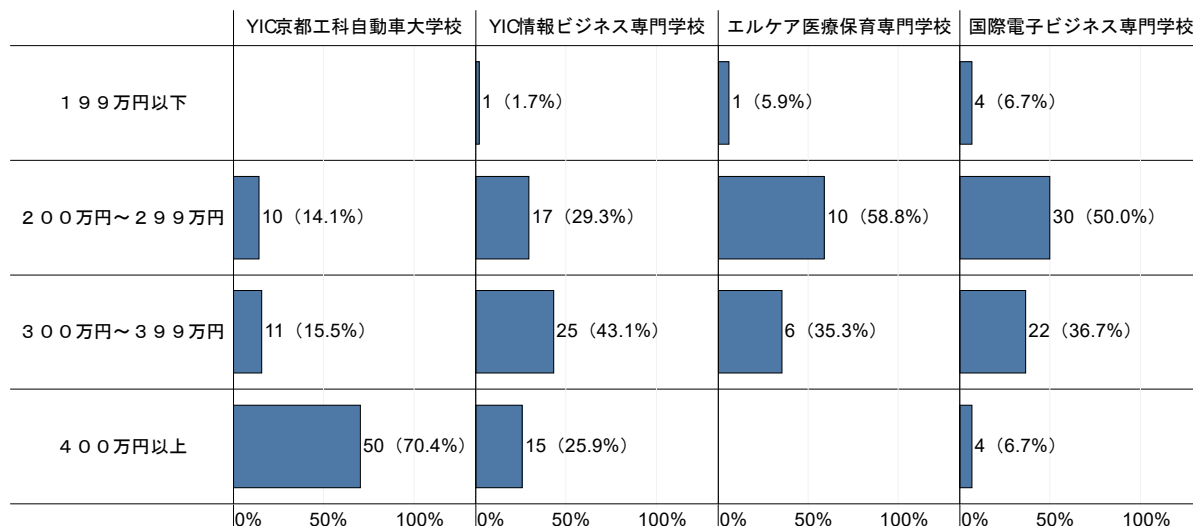
また男女別に見てみると、男性では 22 万円以上と回答している者が 55.4%となっているが、女性では 20.8%と 2 倍以上の差があることがわかる。

問 22. 就職する際に希望する年収はどれくらいですか。

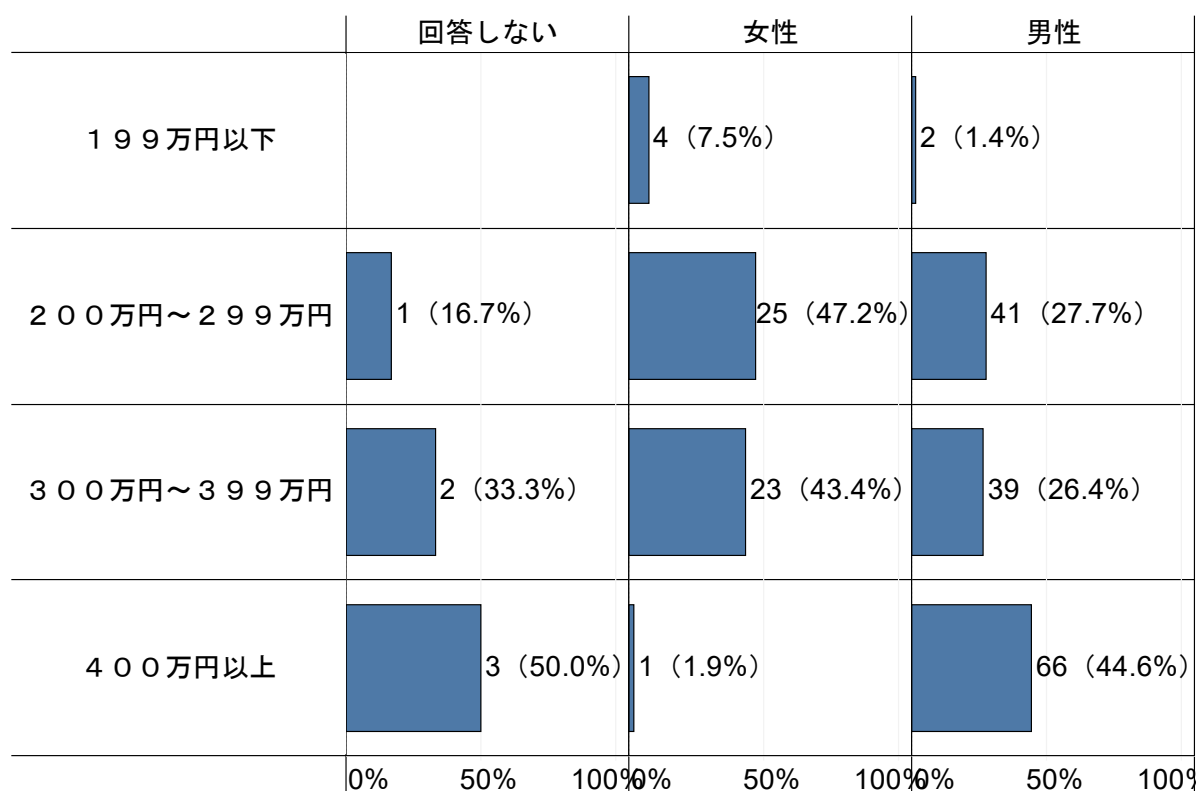
199万円以下	6	2.9%
200万円～299万円	67	32.4%
300万円～399万円	64	30.9%
400万円以上	70	33.8%
計	207	100%



最も比率が高いのは400万円以上（33.8%）だが、「200万～299万」（32.4%）、「300万円～399万円」（30.9%）と大きな差異はない。「199万円以下」と回答した者は少数派であった。



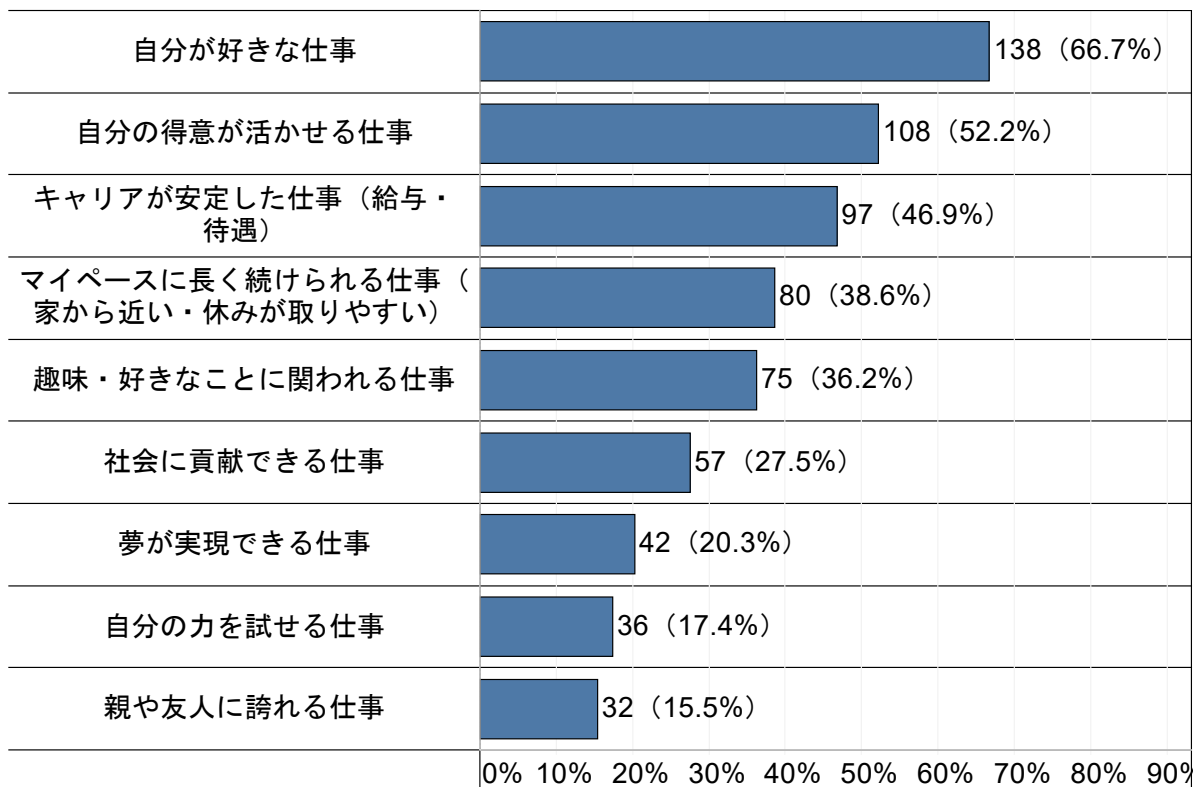
学校別に見てみると、YIC 京都工科自動車大学校では「400 万円以上」が 70.4%と多数であるが、YIC 情報ビジネス専門学校では「300 万円～399 万円」(43.1%)、エルケア医療保育専門学校と国際電子ビジネス専門学校では「200 万円～299 万円」(それぞれ 58.8%、50.0%) が最多であった。



さらに男女別に見てみると、男性では400万円以上(44.6%)が最多であるが、女性では1人(1.9%)しかおらず、性差の大きな項目となっている。

問 23. あなたが将来就きたい仕事を選ぶ基準は何ですか？（複数選択）

自分が好きな仕事	138	66.7%
自分の得意が活かせる仕事	108	52.2%
キャリアが安定した仕事（給与・待遇）	97	46.9%
マイペースに長く続けられる仕事（家から近い・休みが取りやすい）	80	38.6%
趣味・好きなことに関われる仕事	75	36.2%
社会に貢献できる仕事	57	27.5%
夢が実現できる仕事	42	20.3%
自分の力を試せる仕事	36	17.4%
親や友人に誇れる仕事	32	15.5%



最も多かったのは「自分の好きな仕事」であった（66.7%）。「自分の得意が活かせる仕事」（52.2%）、「キャリアが安定した仕事（給与・待遇）」（46.9%）も約半数が選択しており、重視されていることがわかる。他方、「自分の力を試せる仕事」（17.4%）や「親や友人に誇れる仕事」（15.5%）はそれほど重視されていない。

問 24. 問 23 でチェックした仕事選びの基準についてなぜそう思うのか簡単に教えてください。

YIC 京都工科自動車大学 校	すきだから
	家から近くてお金も欲しいから
	将来の安定のため
	生活を豊かに暮らせる
	働きやすい環境で働きたいから
	夢は大きく
	いい仕事
	お金が欲しいから
	そうしたいから
	なんとなく
	モチベーションが高く保てるから
	やりたいことをしたいから
	何にも囚われずに働きたいから
	家から近く給料も大事だから
	楽しく生きるため
	楽しく働きたいから
	楽しくないと続かないから
	楽しみつつ好きなことをしたいから
	好きなことをしながら社会に貢献できる仕事がいいから
	好きなことをやることは楽しいと思うから
	好きなことを仕事にするのがいいと思うから
	好きな仕事をしたたいから
	好きな事で仕事をしたたいから
	好きな事をしたたいから。
	仕事が続きやすいから
	自分のために働くため
	自分の好きなことを長く続けて自分の技術を磨きたいため
	趣味の延長線で仕事をするほうが楽しめると思ったから。
	人の為になりたい
	直感
物心ついた時からそう考えている	
好きなことをして生きたいから	

	マイペースだから
	たのしいから
	やりたいことができるから
	お金は大事だから
	知らない
	そうじゃないと続かないから
	なんとなく
	バイクをカスタムするのが好き
	モチベ
	やめるまで続けたいことだから。
	やりがいがあるから
	楽しみたいから
	給与が安定している仕事に長く続けたいから
	興味があるから
	好き
	好きだから
	好きな仕事だから
	好きを仕事にしたいから
	仕事が楽しいことはとても重要だとおもったから
	仕事を続けやすいから
	仕事を続けるため
	自分の好きなことだから
	趣味を仕事にしたいから
	上記の通りです
	人生を謳歌したいから
	全力で仕事がしたい
	長く続きそうだから
	長続きできると思ったから
	仕事が嫌にならない
	好きなことをしたいから、
	夢を叶えたいから
	自分がやりたいから
YIC 情報ビジネス専門学校	自分のやりたい事で将来が安定していたいから
	なんとなく
	仕事が長く続かないと意味ないから
	生きていて楽しいと思いたいから
	得意を生かした方が楽しそう

あまり分からない
なんとなく
やりたくないことしても長く続かないから
安定した仕事につけば、やりやすいから
安定した職につきたいから
給料が多く安定してるところがいい
仕事を好きになりたいから
自分(従業員)を大切にしてほしい
自分がやりたい仕事をやればいいと思うから
人に誇れる仕事で安定した職に付けるのがいい
続けられるかどうか
得意を活かしたい
デスクワークがしたいから
やりたいことだから
pcで作業がしたいから
お金が大事だから
したいと思ったから
すきな仕事じゃないと続かない
その方がいいと思った
どうせやるなら好きな事
プライベートを大切にしたいから。
モチベーションのため
より成長していきたいから
ワークライフバランスを大切にしたいから
安定した環境で学んだことを活かしてやりたい事をやりたいから
安定した企業に就職したいから
安定した生活をしたたいから
楽しいと思える事でないと続かないから
給料が高い方が良くから。
好きじゃ無い仕事をしてはすぐ辞めるから
好きなことで活躍したいから
好きな仕事は続くと思うから
仕事が続くと思うから
自己肯定感が上がるから
自分の興味がある分野で自分の好きなことを仕事にしたいから

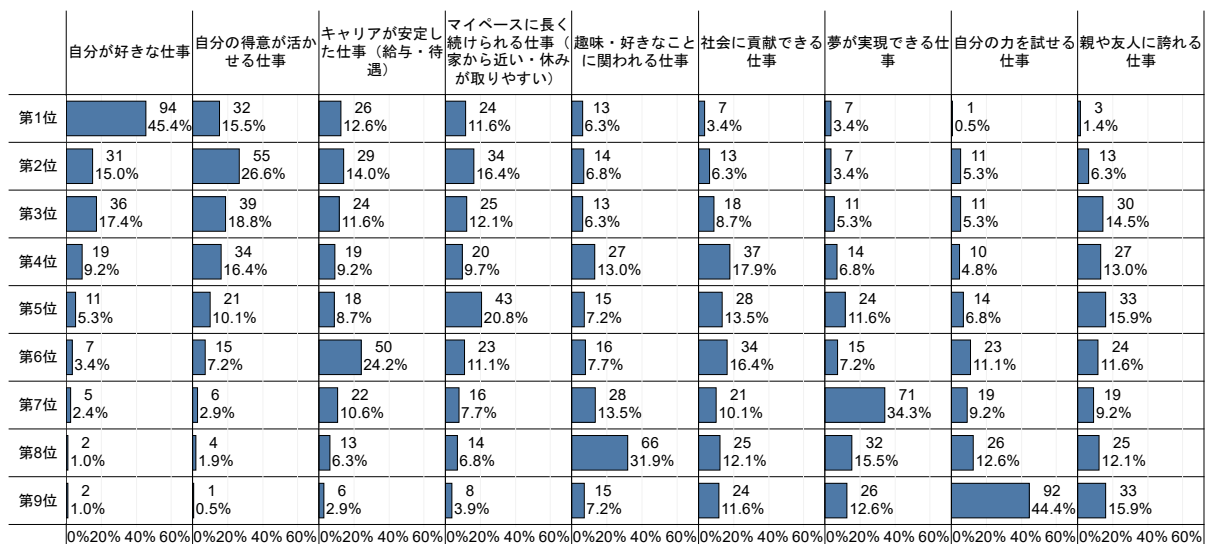
	自分を第一に考えたいから
	実力を上げたいから
	社会に貢献したいから。
	趣味にお金を使いたいから
	心の余裕が保てそうだから
	生活に関わるから
	精神的に追い詰めたくない
	専門学校で得た知識を活かしたい
	続けていくため
	長く働くために必要な事だから
	得意じゃないところの挑戦しても現実問題難しいから
エルケア医療保育専門学校	仕事を続けたいため
	安定した給料で働きたいから。
	楽しくしごとしたいから
	休みが取りやすいことが大事だから
	仕事を長く続けていく上で最低限必要だと思うから
	自分のペースでしたい
	将来性を考えたから
	長く続けるために重要だと思ったから
	この時代お金がないと生きていけない
	スキルアップ
	なんとなく
	何もない限り続けるつもりだから
	自分の力を発揮しながら、色々な人と交流したいから
	社会人生活を長い目で見た時に得意なことを生かした職業だと長続きしそうだから
	長く続けられて給料が安定していてしっかり休みが取れる環境が良いと思ったから。
	得意なことだと頑張れるから
国際電子ビジネス専門学校	好きじゃないと続かないから
	安定した生活を送りたい
	気楽に生きたい
	居心地の良い職場で働きたいから
	お金が欲しいから
	ストレスなく楽しく自分の好きな仕事をしたほうが長く続けられるしと思うから
	それが、継続していくうえで大事だと思ったから。

なし
楽しい仕事がしたいから
企業と自分の価値観や軸があってないと続かないから。
給与は高い方が嬉しい
好きな仕事だったらやりがいがある
仕事を長く続けることが大事だから
刺激を求めているから
自己成長のため
自分のやっている仕事そのまま夢や、やりたいことにつながるというなと思ったから。
自分の持っているスキルがあることで、より早く成果を出すことができます。また、自分の成長やキャリアを考えた時に、充実感や満足感を得るための一つの基準だと思います。
続けられなかったら意味ないから
続けるためには必要だと思うから
体調を崩しやすいから
長く働きたいから
長続きするのが1番だから
長く働けそう
好きな物じゃないと続かない
どうせなら好きなことで働きたい
安定も欲しいしやりがいも欲しい
楽しく仕事がしたいから
楽しめるものをやりたいから
興味がないと続かないから
嫌いなことはしたくない
今までの経験上、これらの要素が一つでもないとモチベーションが湧いてこないことが多かったから。
自分がやりたい職業が現実的にも無理なモノでないか
自分に向いている、やりやすい仕事を選ぶため
自分の体調面のこと考えるとマイペースで長く続けられる仕事がいいから
自分の得意なことを活かしたいから。また、誰かの役に立ってる実感がないと働くの辛そうだから
自分の能力を活かして、周りに認めてもらえる仕事
推し活や生きていく上での最低限かなって

安定して続けられる仕事がいいから。
自分が好きなことを長く続けていけるとところで安定して働きたいから。
モチベーションをあげるため
楽しく長く続けられる仕事に就きたい
楽しく仕事したいから
好きなものを仕事にしたいから。
仕事も楽しくやりたいから
自分ができることを仕事にした方が長く続きそうだから。
自分の好きなことだと成長しながら楽しく続けられると思ったから
将来安定して趣味や休みを取りたいから。
長く続けられる為
楽しそうな職場
嫌な気持ちで仕事したくない
好きなことや得意な事だと仕事を苦痛に感じる事が少ないと思ったため
自分が進んで楽しく続けることができるものが将来的に長く働けると思ったから。
自分の好きなことで仕事ができたらいいなと思ったので
自分の好きなこと得意なことを活かして人の手助けをしたい
自分の好きなことが仕事で出来るのであれば長く続くから
自分が好きな仕事じゃないと、続けられないと思うから
やくにたちたいから
モチベーションが保ちやすい

問 25. あなたが就職先を選ぶときに優先するものの順番をつけてください。(順位)

		自分が好きな仕事	自分の得意が活かせる仕事	キャリアが安定した仕事(給与・待遇)	マイペースに長く続けられる仕事(家から近い・休みが取りやすい)	趣味・好きなことに関われる仕事	社会に貢献できる仕事	夢が実現できる仕事	自分の力を試せる仕事	親や友人に誇れる仕事
第1位	度数	94	32	26	24	13	7	7	1	3
	比率	45.4%	15.5%	12.6%	11.6%	6.3%	3.4%	3.4%	0.5%	1.4%
第2位	度数	31	55	29	34	14	13	7	11	13
	比率	15.0%	26.6%	14.0%	16.4%	6.8%	6.3%	3.4%	5.3%	6.3%
第3位	度数	36	39	24	25	13	18	11	11	30
	比率	17.4%	18.8%	11.6%	12.1%	6.3%	8.7%	5.3%	5.3%	14.5%
第4位	度数	19	34	19	20	27	37	14	10	27
	比率	9.2%	16.4%	9.2%	9.7%	13.0%	17.9%	6.8%	4.8%	13.0%
第5位	度数	11	21	18	43	15	28	24	14	33
	比率	5.3%	10.1%	8.7%	20.8%	7.2%	13.5%	11.6%	6.8%	15.9%
第6位	度数	7	15	50	23	16	34	15	23	24
	比率	3.4%	7.2%	24.2%	11.1%	7.7%	16.4%	7.2%	11.1%	11.6%
第7位	度数	5	6	22	16	28	21	71	19	19
	比率	2.4%	2.9%	10.6%	7.7%	13.5%	10.1%	34.3%	9.2%	9.2%
第8位	度数	2	4	13	14	66	25	32	26	25
	比率	1.0%	1.9%	6.3%	6.8%	31.9%	12.1%	15.5%	12.6%	12.1%
第9位	度数	2	1	6	8	15	24	26	92	33
	比率	1.0%	0.5%	2.9%	3.9%	7.2%	11.6%	12.6%	44.4%	15.9%

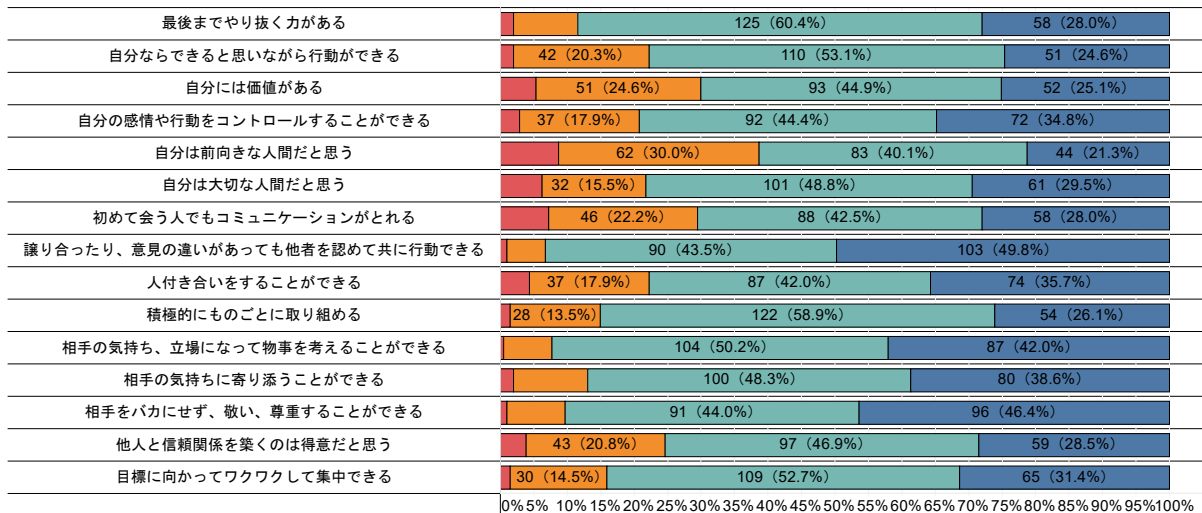


問 23 でみた 9 つの項目について、就職先を選ぶ際に重視することの優先順位を示したものが本設問である。問 23 と同様、もっとも優先的に選ばれているのは「自分が好きな仕事」(45.4%)であった。「自分の得意が活かせる仕事」が 2 番目に優先されているのも問 23 と同様の傾向である。

問 26. 今の自分について各項目を教えてください。

		1. とても当てはまる	2. やや当てはまる	3. あまり当てはまらない	4. 全く当てはまらない
最後までやり抜く力がある	度数	58	125	20	4
	比率	28.0%	60.4%	9.7%	1.9%
自分ならできると思いながら行動ができる	度数	51	110	42	4
	比率	24.6%	53.1%	20.3%	1.9%
自分には価値がある	度数	52	93	51	11
	比率	25.1%	44.9%	24.6%	5.3%
自分の感情や行動をコントロールすることができる	度数	72	92	37	6
	比率	34.8%	44.4%	17.9%	2.9%
自分は前向きな人間だと思う	度数	44	83	62	18
	比率	21.3%	40.1%	30.0%	8.7%
自分は大切な人間だと思う	度数	61	101	32	13
	比率	29.5%	48.8%	15.5%	6.3%
初めて会う人でもコミュニケーションがとれる	度数	58	88	46	15
	比率	28.0%	42.5%	22.2%	7.2%
譲り合ったり、意見の違いがあっても他者を認めて共に行動できる	度数	103	90	12	2
	比率	49.8%	43.5%	5.8%	1.0%
人付き合いをすることができる	度数	74	87	37	9
	比率	35.7%	42.0%	17.9%	4.3%
積極的にものごとに取り組める	度数	54	122	28	3
	比率	26.1%	58.9%	13.5%	1.4%
相手の気持ち、立場になって物事を考えることができる	度数	87	104	15	1
	比率	42.0%	50.2%	7.2%	0.5%
相手の気持ちに寄り添うことができる	度数	80	100	23	4
	比率	38.6%	48.3%	11.1%	1.9%
相手をバカにせず、敬い、尊重することができる	度数	96	91	18	2
	比率	46.4%	44.0%	8.7%	1.0%
他人と信頼関係を築くのは得意だと思う	度数	59	97	43	8
	比率	28.5%	46.9%	20.8%	3.9%
目標に向かってワクワクして集中できる	度数	65	109	30	3
	比率	31.4%	52.7%	14.5%	1.4%

■ 4. 全く当てはまらない ■ 3. あまり当てはまらない ■ 2. やや当てはまる ■ 1. とても当てはまる



多くの項目で肯定的な回答が目立っている。特徴としては以下の点が挙げられる。第一に、「譲り合ったり、意見の違いがあっても他者を認めて共に行動できる」（とても当てはまる＋やや当てはまる：93.3%（以下同じ））、「相手の気持ち、立場になって物事を考えることができる」（92.2%）、「相手をバカにせず、敬い、尊重することができる」（90.4%）など、他者とともに行動したり他者に共感したりする能力意識が高いことがわかる。

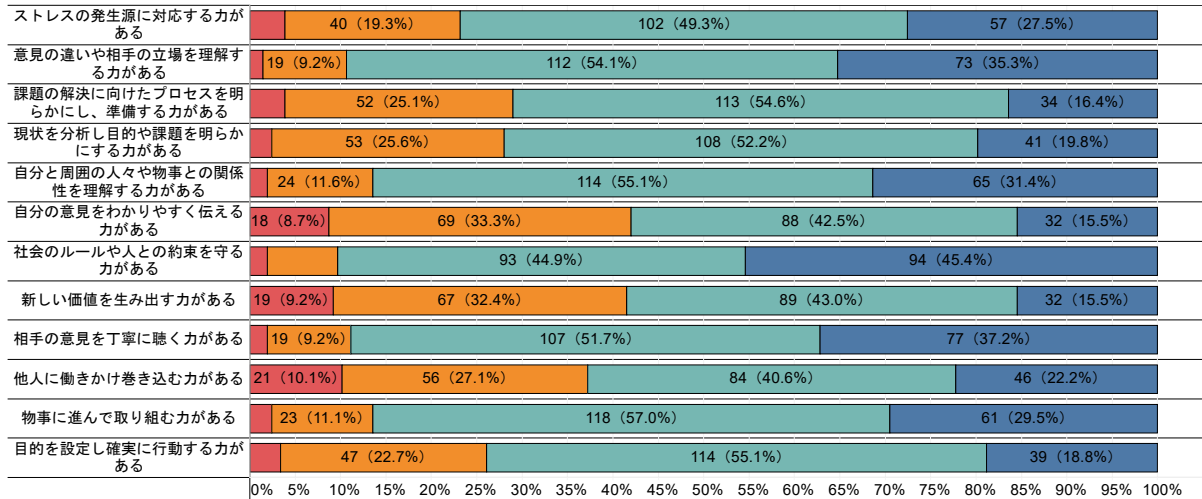
しかしながら第二に、「人付き合いをすることができる」（77.7%）「初めて会う人でもコミュニケーションが取れる」（70.5%）、「他人と信頼関係を築くのは得意だと思う」（75.4%）など、あ他者と関係構築をしていくことについては、他の項目と比較して苦手意識を持っている学生がいることがうかがえる。

また第三に、「自分は前向きな人間だと思う」（61.4%）、「自分には価値がある」（60.0%）など、いわゆる自己肯定感については、一般的な若者の傾向と同様に低い傾向にあることが示唆される。

問 27. 自分の能力について教えてください。

		1. とても当てはまる	2. やや当てはまる	3. あまり当てはまらない	4. 全く当てはまらない
ストレスの発生源に対応する力がある	度数	57	102	40	8
	比率	27.5%	49.3%	19.3%	3.9%
意見の違いや相手の立場を理解する力がある	度数	73	112	19	3
	比率	35.3%	54.1%	9.2%	1.4%
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力がある	度数	34	113	52	8
	比率	16.4%	54.6%	25.1%	3.9%
現状を分析し目的や課題を明らかにする力がある	度数	41	108	53	5
	比率	19.8%	52.2%	25.6%	2.4%
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力がある	度数	65	114	24	4
	比率	31.4%	55.1%	11.6%	1.9%
自分の意見をわかりやすく伝える力がある	度数	32	88	69	18
	比率	15.5%	42.5%	33.3%	8.7%
社会のルールや人との約束を守る力がある	度数	94	93	16	4
	比率	45.4%	44.9%	7.7%	1.9%
新しい価値を生み出す力がある	度数	32	89	67	19
	比率	15.5%	43.0%	32.4%	9.2%
相手の意見を丁寧に聴く力がある	度数	77	107	19	4
	比率	37.2%	51.7%	9.2%	1.9%
他人に働きかけ巻き込む力がある	度数	46	84	56	21
	比率	22.2%	40.6%	27.1%	10.1%
物事に進んで取り組む力がある	度数	61	118	23	5
	比率	29.5%	57.0%	11.1%	2.4%
目的を設定し確実に行動する力がある	度数	39	114	47	7
	比率	18.8%	55.1%	22.7%	3.4%

■ 4. 全く当てはまらない ■ 3. あまり当てはまらない ■ 2. やや当てはまる ■ 1. とても当てはまる



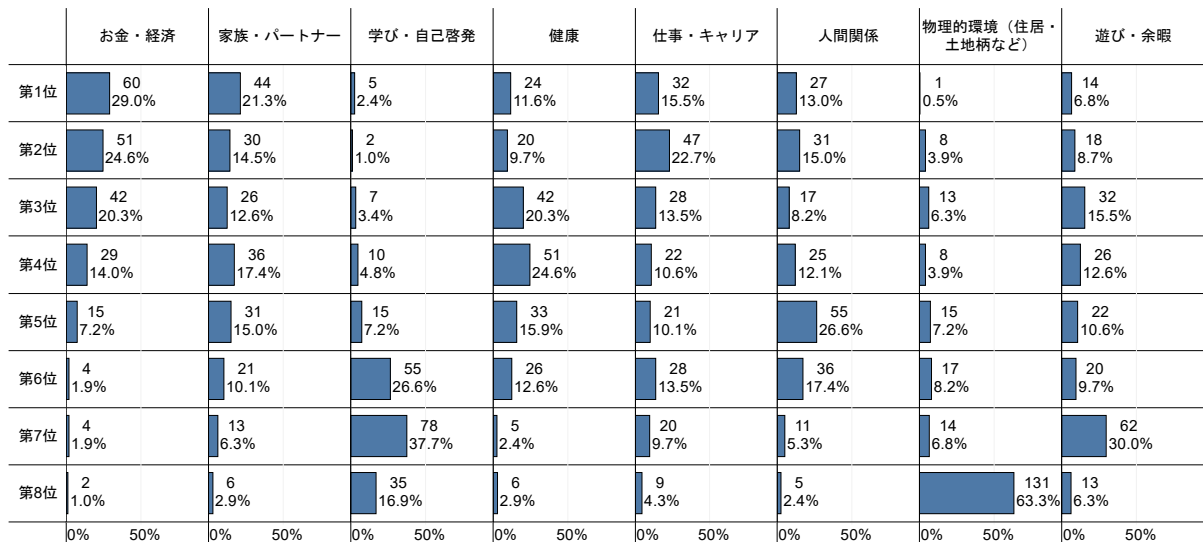
各項目に記した能力意識について尋ねたところ、「社会のルールや人との約束を守る力がある」（とても当てはまる＋やや当てはまる：90.3%（以下同じ））や「意見の違いや相手の立場を理解する力がある」（89.4%）、「相手の意見を丁寧に聴く力がある」（88.9%）など、他者関係を構築していく上で必要となる能力が身につけていると感じている学生が比較的多いことがわかる。この点は、問26の結果とも重なる。

一方、「自分の意見をわかりやすく伝える力がある」（58.0%）、「新しい価値を生み出す力」（58.5%）、「他人に働きかけ巻き込む力がある」（62.6%）などは、その他の項目と比較して肯定的な回答が相対的に少ない。

問30. あなたが大切にしているもの、大切にしていきたいものについて、1番を最大にして順位をつけてください。（順位）

		お金・経済	家族・パートナー	学び・自己啓発	健康	仕事・キャリア	人間関係	物理的環境(住居・土地柄など)	遊び・余暇
第1位	度数	60	44	5	24	32	27	1	14
	比率	29.0%	21.3%	2.4%	11.6%	15.5%	13.0%	0.5%	6.8%
第2位	度数	51	30	2	20	47	31	8	18
	比率	24.6%	14.5%	1.0%	9.7%	22.7%	15.0%	3.9%	8.7%
第3位	度数	42	26	7	42	28	17	13	32
	比率	20.3%	12.6%	3.4%	20.3%	13.5%	8.2%	6.3%	15.5%
第4位	度数	29	36	10	51	22	25	8	26
	比率	14.0%	17.4%	4.8%	24.6%	10.6%	12.1%	3.9%	12.6%
第5位	度数	15	31	15	33	21	55	15	22
	比率	7.2%	15.0%	7.2%	15.9%	10.1%	26.6%	7.2%	10.6%

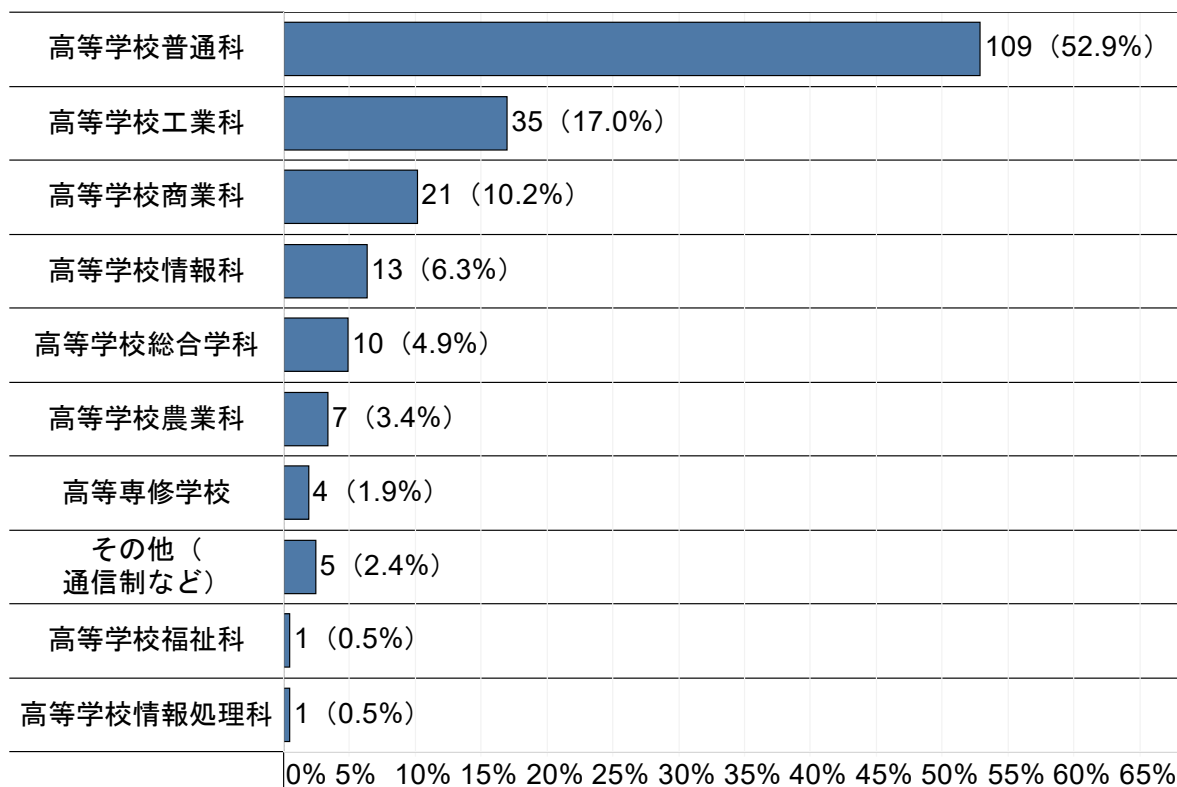
第6位	度数	4	21	55	26	28	36	17	20
	比率	1.9%	10.1%	26.6%	12.6%	13.5%	17.4%	8.2%	9.7%
第7位	度数	4	13	78	5	20	11	14	62
	比率	1.9%	6.3%	37.7%	2.4%	9.7%	5.3%	6.8%	30.0%
第8位	度数	2	6	35	6	9	5	131	13
	比率	1.0%	2.9%	16.9%	2.9%	4.3%	2.4%	63.3%	6.3%



「大切にしているもの、大切にしていきたいこと」についての順位を尋ねたところ、最も優先的に選択されたのは「お金・経済」(29.0%)であった。この項目はほぼ第5位までに選択されており、専門学校生の多くが金銭的な面を価値観として重視していることがわかる。また、「家族・パートナー」、「仕事・キャリア」も比較的優先的に選択される傾向にある。他方、「学び・自己啓発」、「物理的環境(住居・土地柄など)」はあまり重視されていない。特に「物理的環境(住居・土地柄など)」は半数以上の者がもっとも優先度を低くみなしている。

問 31. 卒業した高等学校・高等専修学校の学科をお答えください。

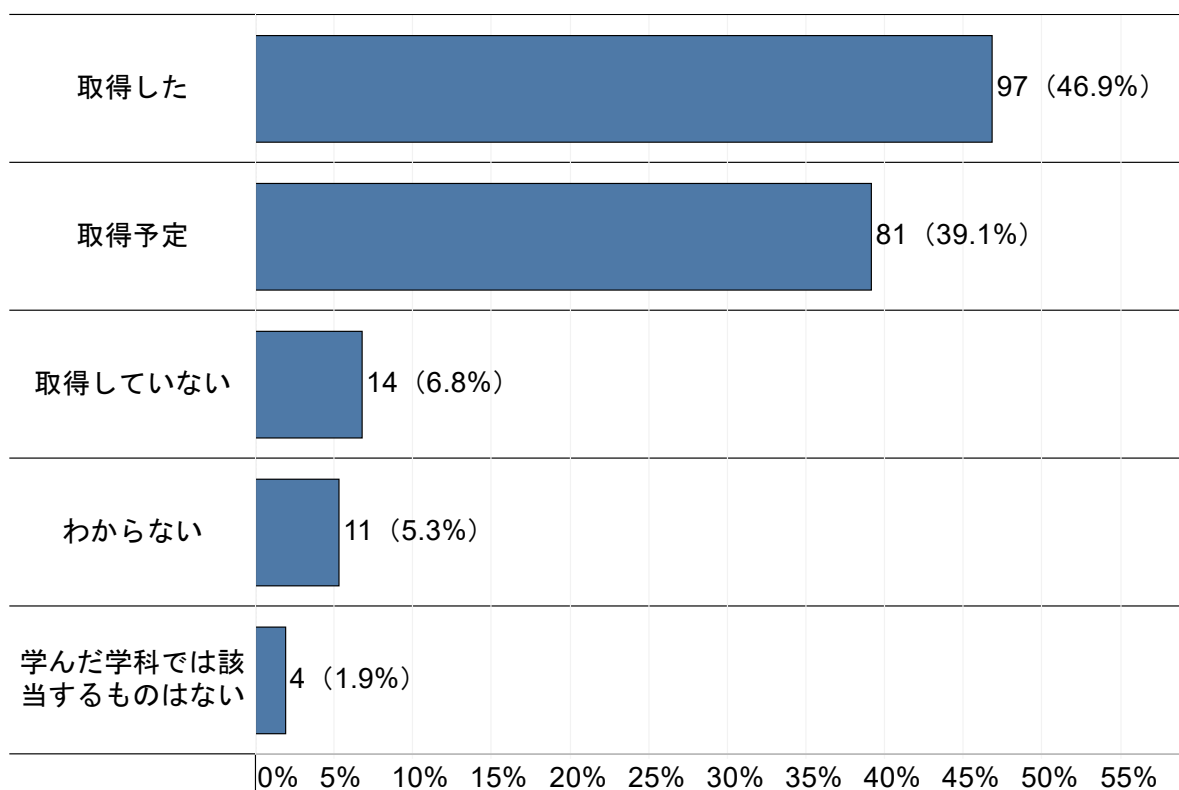
高等学校普通科	109	52.9%
高等学校工業科	35	17.0%
高等学校商業科	21	10.2%
高等学校情報科	13	6.3%
高等学校総合学科	10	4.9%
高等学校農業科	7	3.4%
高等専修学校	4	1.9%
その他（通信制など）	5	2.4%
高等学校福祉科	1	0.5%
高等学校情報処理科	1	0.5%
計	206	100%



回答者のうち約半数が普通科の出身である（52.9）。また、回答者に自動車系、情報系分野に所属する学生が多いことから、工業科（17.0%）や商業科（10.2%）、情報科（6.3%）などの専門学科出身も比較的多い。他方、その他（通信制高校）出身は、今回の回答者の中にはほとんどいなかった。

問 32. 専門学校に入って当該学科で目指す資格取得をしましたか。

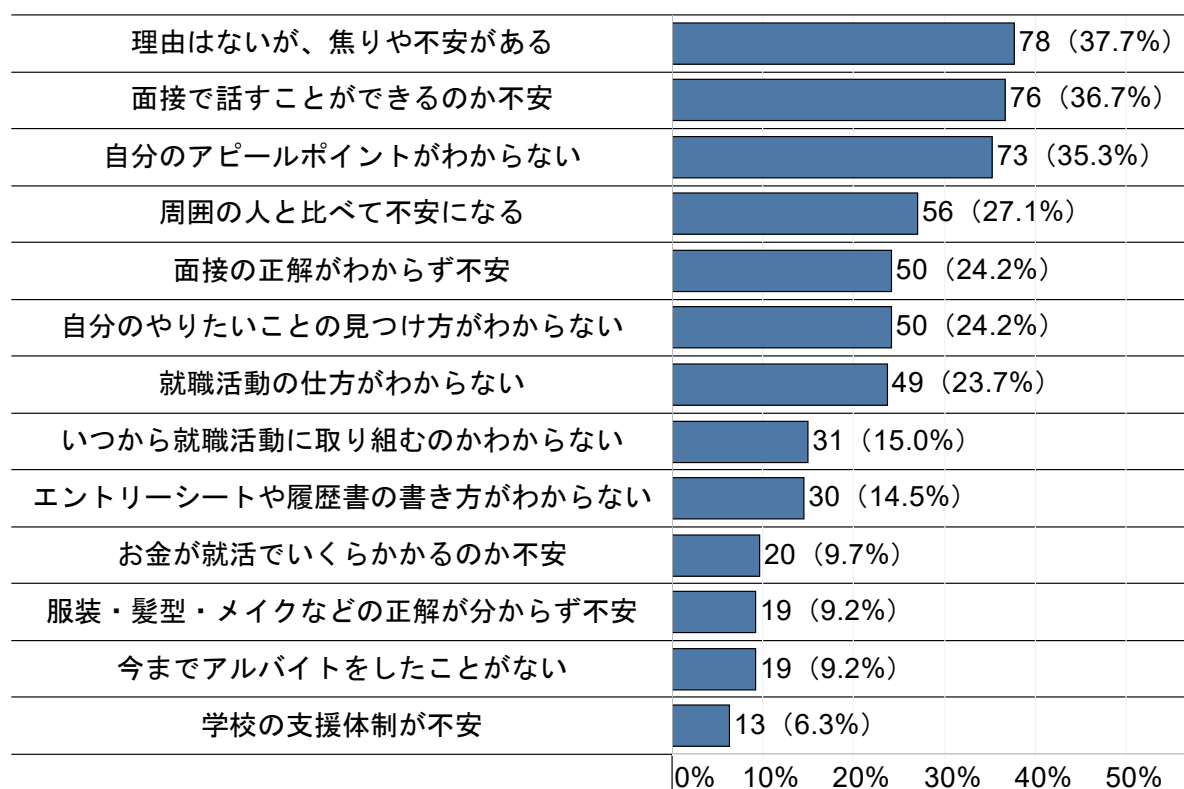
取得した	97	46.9%
取得予定	81	39.1%
取得していない	14	6.8%
わからない	11	5.3%
学んだ学科では該当するものはない	4	1.9%
計	207	100%



所属学科において目指す資格をすでに取得、あるいは取得予定であると回答したものは 86.0%であり、回答者のうちほとんどが何らかの資格取得を見込んでいる。

問 33. 就職活動で不安なことはありますか。(複数選択)

理由はないが、焦りや不安がある	78	37.7%
面接で話すことができるのか不安	76	36.7%
自分のアピールポイントがわからない	73	35.3%
周囲の人と比べて不安になる	56	27.1%
面接の正解がわからず不安	50	24.2%
自分のやりたいことの見つけ方がわからない	50	24.2%
就職活動の仕方がわからない	49	23.7%
いつから就職活動に取り組むのかわからない	31	15.0%
エントリーシートや履歴書の書き方がわからない	30	14.5%
お金が就活でいくらかかるのか不安	20	9.7%
服装・髪型・メイクなどの正解が分からず不安	19	9.2%
今までアルバイトをしたことがない	19	9.2%
学校の支援体制が不安	13	6.3%



就職活動で不安なこととして、最も多く選択されたのは「理由はないが、焦りや不安がある」であった(37.7%)。また、「面接で話すことができるのか不安」(36.7%)、「自分のアピールポイントがわからない」(35.3%)といった、主に面接にかかわる不

安も大きいことがわかる。一方で、「学校の支援体制が不安」を選択した者は少なく（6.3%）、各学校が行っている就職支援を不満に感じているものは少数派であることがわかる。

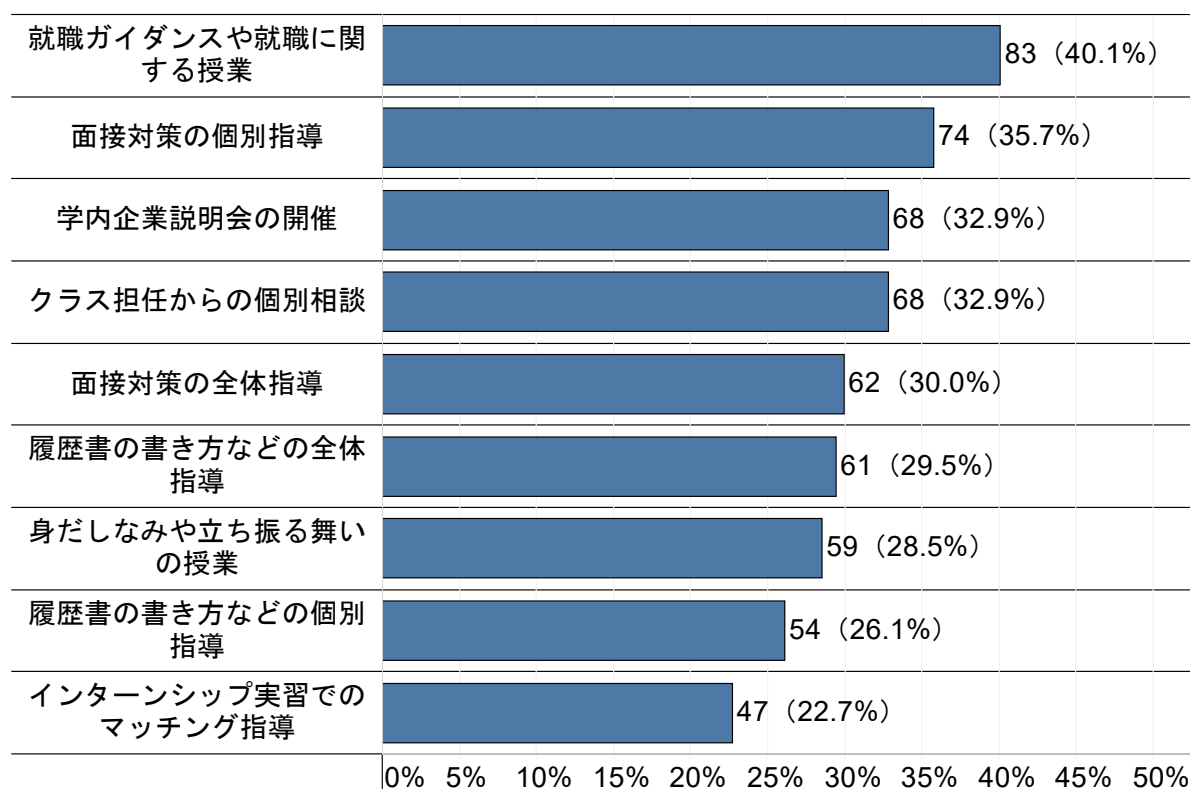
問 34. 選択肢以外に就職活動で不安なことはありますか？

YIC 京都工科自動車大学 校	その他
	どんな仕事か分からない
	これからの日本と物価
	その他
	もし面接などで落ちた時
	健康面でいけるかどうか
	実際に働いたときとのギャップ
	受かるかどうか
	受かるか不安
	周りとの進路が違う感じ
	就職できるか不安
	適正検査が少し不安
	その他
	その他
	その他
	わからない
	実家を継ぐかどうか
	終わってるからない
	選択肢にもない
	その他
YIC 情報ビジネス専門学 校	その他
	その他
	ちゃんと就職出来るかどうか
	その他
	資格
	その他
	社会人として仕事や生活ができるか不安
	就活が終わっているためなし
	就職先が決まっているので不安は無い
	第1志望の業界へ就職できるかどうか
	面接が不安です

エルケア医療保育専門学校	その他
	全部
	面接
	2年生に上がった時の実習期間。
	選んだ職場が自分に合っているのか不安
国際電子ビジネス専門学校	その他
	面接など会社の人と話すのが緊張する
	ガクチカ
	どんな仕事に就きたいか決まってない
	就活支援のサイトもまともに機能せず学校の支援が全く当てにならなかった
	その他
	ストレスすごいのにストレス発散の方法がわからない
	その他
	思いつかない
	親に迷惑をかけそうで怖い。
	その他
	どういう人と働きたいのかわからなくなっている。
	具体的なやりかたがわからない
	自分に合う就職先を見つける方法
	その他

問 35. 今後、所属校に対して就職活動支援で期待することはありますか。(複数選択)

就職ガイダンスや就職に関する授業	83	40.1%
面接対策の個別指導	74	35.7%
学内企業説明会の開催	68	32.9%
クラス担任からの個別相談	68	32.9%
面接対策の全体指導	62	30.0%
履歴書の書き方などの全体指導	61	29.5%
身だしなみや立ち振る舞いの授業	59	28.5%
履歴書の書き方などの個別指導	54	26.1%
インターンシップ実習でのマッチング指導	47	22.7%



所属校の就職支援として期待することについて尋ねたところ、「就職ガイダンスや就職に関する授業」(40.1%)を筆頭に、「面接対策の個別指導」(35.7%)、「学内企業説明会の開催」(32.9%)、「クラス担任からの個別相談」(32.9%)と続いている。

問 36. 選択肢以外で就職活動支援でして欲しいことはありますか？

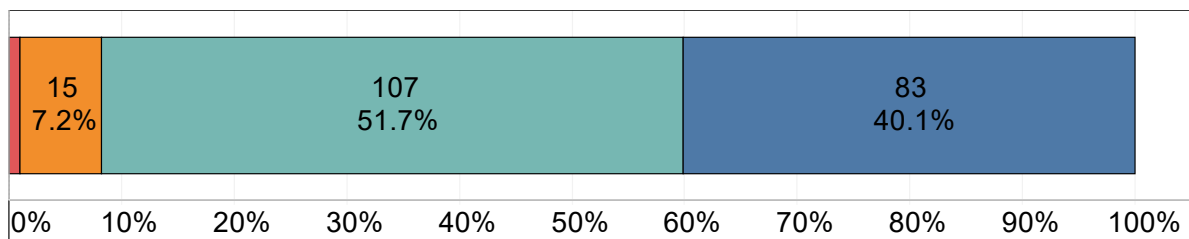
YIC 京都工科自動車大学 校	その他
	仕事内容の提示
	いろいろ
	その他
	学力面の支援
	自分の困っている事への相談や手助け
	色々な会社を知れる機会
	働いてる人と喋りたい
	面接練習
	履歴書の添削
	その他
	その他
	その他
	わからん
	選択肢にもなし
その他	
YIC 情報ビジネス専門学 校	その他
	どんな会社があるか教えて欲しいです
	アドバイスなど
	いい所の紹介
	その他
	そんなに無い
	まだ分からない
	わからない
	その他
	企業説明会の質問内容(基準がわからないから何も言えない)
	個別面談
	考え中です
	今のところは大丈夫
	面接対策
エルケア医療保育専門学 校	その他
	就職について先輩と話す機会を作って欲しい
	分かりません
	ありません

	今のところありません。
	自己分析のしかた
国際電子ビジネス専門学校	その他
	いろんな仕事の紹介・説明など
	もっと生徒に寄り添いながら動くべきだと思った
	資格取得
	面接対策
	SPI 対策
	その他
	思いつかない
	自己分析の進め方
	その他
	自己分析
	インターンの仕方
	自己分析
	その他

問 37. 専門学校に入ると良かったと思いますか。

とても良かった	83	40.1%
まあ良かった	107	51.7%
あまり良くなかった	15	7.2%
良くなかった	2	1.0%
計	207	100%

■ 良くなかった ■ あまり良くなかった ■ まあ良かった ■ とても良かった



回答者のほとんどが、専門学校へ入学したことに満足している（「とても良かった」+「まあ良かった」：91.8%）。

問 38. 専門学校に入ると良かったと思う点を教えてください。

YIC 京都工科自動車大学校	好きを仕事にできる
	進路が明確に見えている
	専門性があるところ
	専門知識や先生の話が聞ける。先輩からも話が聞ける
	専門的なことを学べる
	友達が出来た
	いろいろ学べる
	おもしろい
	たくさんの企業の情報が得られるため
	たのしいから
	わからない
	学びたいことを学べている
	楽しい作業が出来る
	技術、知識が身についた

繋がりが増えた
好きなことの専門的なことを学べた
資格が取れた
資格が取れて就活に強い
資格が取れて就職活動に強い
自分が学びたいことに集中して取り組むことができる
自分のやりたい仕事について学べたこと
自分の趣味と同じ趣味を持っている友達がいること
色々な車を触って色々な実習を通して実際に現場で働く時に役立つ知識を沢山蓄えられる
成長を実感できる。
整備のことを学べる
専門的な技術や知識、資格を取得できた事
専門的な事が学べる
専門的な知識を学べる
全部
対策がされてる
知らない事を詳しく学べる
知りたかった知識が学べた。
特になし
専門の知識が学べた
その他
たくさん学べた
おもしろい
とても楽しい！目指せる
ながすぎ
わからん
楽しい
好きなことについて学べる
好きなもの同士が集まること
資格取れる
資格取得ができる
自分の学びたいと思うことを学べること
自分の興味がある物事について学べる
自分の取りたい資格が取れたから
自分の知りたかったことを学べる
授業が楽しい

	詳しく勉強できる
	色々学べるから
	専門的な事が学べるから
	専門的に学べる
	専門分野について学べる 技術を身につけられる。
	徹底して学べる
	友達ができた
	好きなことを詳しく知れる
	ちゃんと学べる
	内容の濃い授業を受けられている
YIC 情報ビジネス専門学校	自分のやりたいことができ、毎日が充実していること
	自分の学びたいことが学べて楽しい
	自分の好きな分野をとことん突き詰められるから。
	新しいソフトに触れられる
	専門的な知識が身につく
	資格
	資格が取れた
	資格が取れる
	資格を取得できたこと
	資格取得
	先生が優しい
	専門的な知識がつく
	専門的な知識が学べる
	専門的な知識が着くところ
	専門分野が学べる
	友達ができたこと
	時間に余裕ができた
	ITについて知れてよかった
	その他
	ボランティアで地域の学生と関わったこと
	学びたいことが学べる。
	希望する職種で、第一希望の企業から内定を頂けたから
	技術を学べるから
	好きなことを並行して学ぶことができる
	自分に分野が向いている
	就職したい道を決めることが出来た
	就職できたから

	専門を学べること
	専門知識を学べる
	専門的なことが学べた
	専門的な技術やその分野の最先端が何かを知ることができる。
	専門的な知識が学べる
	専門的な知識を学べる
	専門的な分野が集中して学べる
	専門的知識や技術を学べるから
	専門分野が学べる
	専門分野を学べること
	知らなかったことが学べた
	知見が増えた
	適度な縛りがあってやりやすい
	特定の分野に特化した知識が身につく
	内定を取ることができた
	雰囲気が良い
	勉学に意欲的に取り組めるようになった
	勉強
	夢がある。叶える可能性がある
エルケア医療保育専門学校	自分の学びたいことを専門にして学べる
	いろんな資格が取得できる
	サポートが充実している
	金曜日が自宅学習の日で、勉強する時間を確保できるから
	資格
	自分が取得したかった資格が全部取れたから。
	色んな学びができています
	専門の資格取得以外にも実践的なことを学べるから
	同じ目標に向かって頑張れる友達が沢山居た
	人間性を学べる
	クラスみんなで一丸となって頑張れるところ
	たくさん人の資格を取得することができたから
	資格がたくさん取れる
	先生に気軽に相談できる点
	専門的な知識を学ぶ事ができ、様々な人と交流出来ること。
	沢山の資格取得や接遇について学べたこと
	目標が定まった
国際電子ビジネ	資格が取れる

ス専門学校	しっかり、支えてくれる先生がいる
	就職支援してくれる
	友達もできたしパソコンの使い方やお金周りの方經理の仕方見方人間関係の重要さを学べて良かった
	グループで問題の解決
	わかりやすい
	検定取得
	資格が取れる
	資格取得をたくさんとれたり経験したことない事もできたのでよかったです
	自分が好きなスキルを学べること。
	自分で考える、自分から動くなど、前よりアクティブになった。
	主体的に行動できるようになったと思う
	取りたい資格がとれた
	就職する際に必要なことを身につけられた
	商業的な知識を得たこと
	色々な知識を得ることができるから
	新しい友達が作れたから
	人と関わる機会があった。
	専門的な知識が学べるのと、キャリアアップなどもできるからです。
	専門的な知識を得れること
	友人ができた
	有用な資格を取れる
	比べる基準が分からない
	友達が出来た
	pc、アプリの使い方を知れた
	いろいろな先生のサポート
	その他
	やりたいことを学べた
	環境が変わったこと
	資格が沢山取れた
	自分がやりたいことを学べる
自分が好きなことを深く学べる	
実践的な技術と知識をすぐに学べる	
就活しやすい	
色々なことを学べた	

大学と違って早めに就活を初めて働けること
知らないことを学べる。人と関わりを持てる。
目指す職業に必要な資格や検定が取得できて、スキルアップもできる点。
自分のスキルが沢山増えた。
就職活動の支援が手厚かったこと、即戦力が鍛えられること。
学べることがあった
初めてのことで一から学んでいけるという所
広告デザインについて知り、作り方を学べたところ
資格がたくさん取れる
資格が取れて新たな人間関係が作れる
自分の好き・得意な分野を伸ばすことが出来た
専門知識を学ぶことができる点
専門的な技術が学べること。
同じところを目指す友達ができるから
いろんな資格とれること
デザインに関する経験の機会がたくさんある。
学びたかったことが学べてる
自分の興味があることややりたいことへの技術や知識を得ることができているから
自分の好きな事、得意なことを伸ばすことが出来て良かった
多くに資格を取得できたため
資格取得が沢山出来る
好きな事が増えた
資格が取れる
興味がある分野の勉強ができる

問 39. 専門学校に入って悪かったと思う点を教えてください。

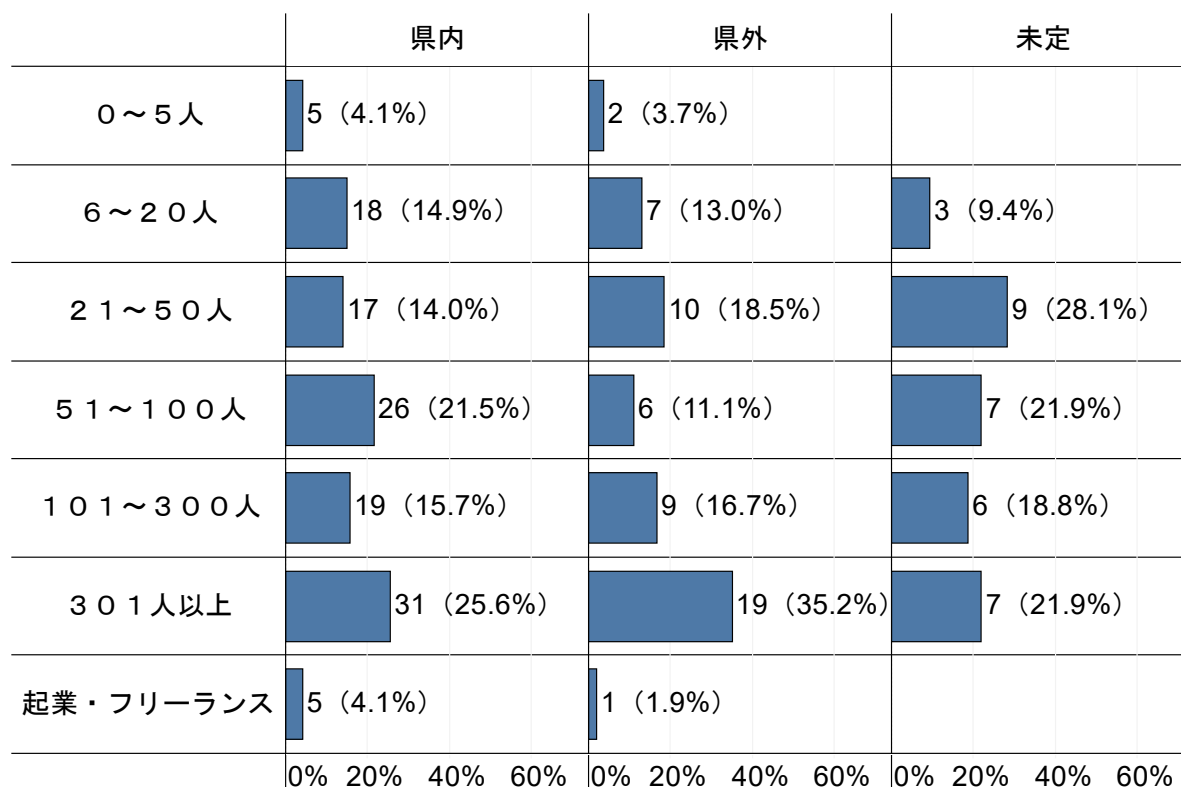
YIC 京都工科自動車大学 校	休みが少ないところ
	経験が遅れる
	変な奴しかおらん
	3割くらい趣味は仕事にするもんじゃないなと思ったこと
	かなり授業がピリピリしやすい。
	その他
	トラブルへの対応が遅い。
	プライベートの時間が削られる
	ルールが厳しい
	遠い
	休みが少ない
	金がない
	授業の教え方
	授業の教え方がが分かりにくい先生が多い
	就職している人との技術の差が出来る事
	将来役に立つか疑問に思うところがある
	小さな不備がちょこちょこあって困る
	単位が厳しくて休みが少ない
	年100万円以上学費がかかるのに下に見られ給与水準が未だに低いこと
	疲れがすごく溜まる
	勉強することが多く遊びの時間が少ない
	毎日しんどい
	臨時講師がピンキリ
	授業の時間暇が多い
	ある
	その他
	2年制なので就職までの時間がすぐに来る
	その他
	ながすぎてくさ
	何に関しても連絡が遅い、先生が適當すぎる
学費が高い	
教え方が悪い	
高熱が出ても休めない。	
週五がしんどい	

	人が悪い先生方の対応が悪い授業でYouTube 流し始める
	専門的な知識以外は学べないこと
	男しかおらん
	電子レンジが少ない
	普通の大学生活も送って見たかった
	その他
YIC 情報ビジネス専門学校	専門知識以外の基本知識をやらないといけないこと
	その他
	クラスがうるさい
	そんなに無い
	メリハリがない
	より専門的なことを学びたいと思った
	時間が無いのと専門的な事しか学べないところ
	取れる資格が取れてない
	授業が少し遅い
	授業の進むスピード
	就職すれば良かった
	人間関係
	大学に比べて時間が無いところ
	授業中うるさい人がいる
	やっぱり勉強嫌いな人はとても辛い環境だと思う
	レベルが低い
	学校のイベントが少ない
	環境
	高卒に比べて出遅れる事
	今のところ無し
	時間が足りない
	時間が無い
	情報量の多さに疲弊
	生徒のレベルが低い
	先生の授業が分かりづらい時がある
	大学と違い一般常識などの教養分野の授業がない
	大学に行っていないので将来が不安。
	勉強量が想像以上に多い。
	忙しいとこ
	忙しい所
	毎日学校に通うこと

	毎日強制で学校に行くこと
	毎日登校なのでバイトする時間があまり取れない
エルケア医療保育専門学校	学生生活がすくない
	いろいろ
	学校外で活動がある時の場所が行きづらいこと
	思っていたのと違うが多い
	就職する時に、大学卒と比べると給料が低い
	商業の子が多かったからか、クラスの私語が多かったところ。
	忙しい
	今のところありません。
	人との関わりが狭い
国際電子ビジネス専門学校	大卒との年収の格差
	お金かかる
	少し、自分の気の緩みがみられる
	同じ授業が続くことが多いので苦手な分野だとやる気がなくなる
	だらけちゃう
	わからない
	課題に与えられた時間が少し長すぎたりと感じたり、逆に短すぎと感じたこと。
	資格がすべてではないこと
	時間かけなくてもいいところに時間をかけている
	時間を有意義に使えないことがあった
	授業の進め方が遅いこと
	授業内容が薄い、特定の先生の授業内容が非常に中身の少ないものになっている。情報系の学校なのにプリントが多すぎてかさばるのが地味に困る
	説明会で行った時と違う授業してるのがよくわからない
	通学
	必要な学費とそれに見合った学びを得ているかずっと疑問になっている。
	無駄な授業が多く、先生は生徒には遅刻するなというのに、平気で遅刻すること
	余裕がありすぎる。
	多分ない

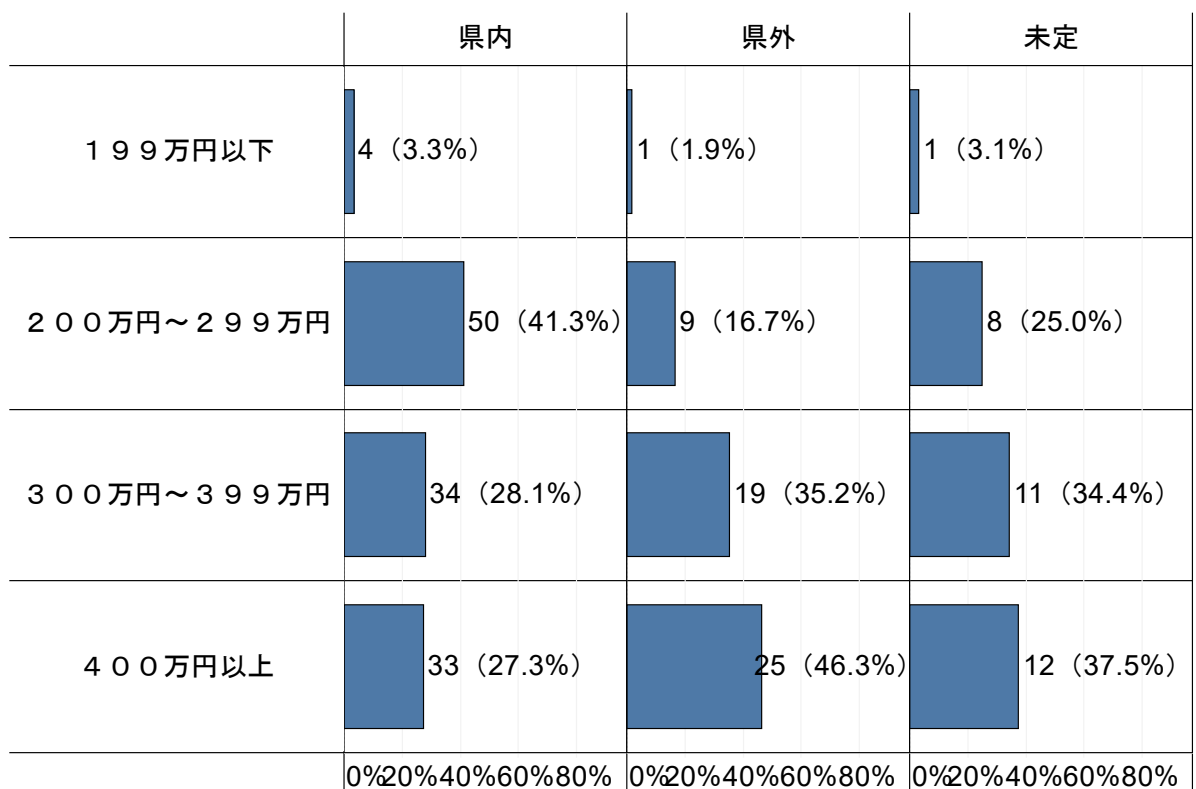
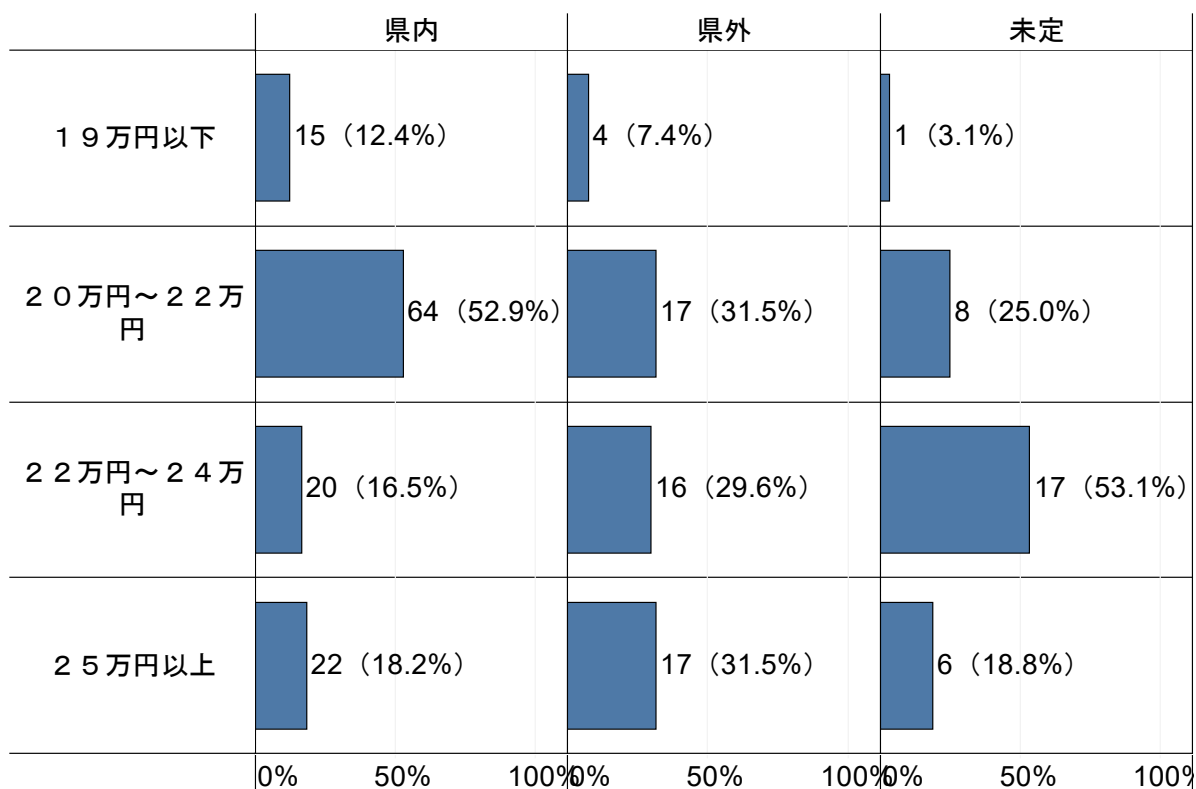
お金がかかる
すぐに就職活動をしなければならない。
その他
一般常識の勉強をする時間が少ない点。
基礎がないまま課題や実習が多く、学生の負担が大きい
先生に癖が強いなーと思う人がたまに居る
駐車場がない
努力次第では独学でも学べる
家から遠いので運転がしんどいです。
借金
その他
検定と課題が多すぎてバイトと両立させるのが大変
実践的な授業と課題が多く、基礎がないまま進むところ
奨学金がかかる
課題が多い
自主制作をする余裕を作れない
その他

クロス集計①：希望する進路の場所（県内／県外）×希望企業規模、希望初任給、希望年収



本事業では、主に地域（地元）の中小企業へと参入していく人材の養成が目指されているが、ここまで見てきたように、本調査においては回答者の多くが、キャリアを形成していくにあたって「お金・経済」面を価値観として重視していることがわかった（問30）。本調査対象者の所属する学校の多くは地方県であり、最終的な進路先を県内にするか／県外にするかは、「お金・経済」面に大きな影響をもたらす選択となりうる。そこで、問13「現在希望する進路の場所はどこですか」という設問に対し、第一優先を「県内」としたか、「県外」としたか（あるいは「未定」としたか）によって、金銭面の指標である希望給与や希望年収への意識に差がみられるかを確認してみたい。

まず、希望する企業規模について上記区分別に見てみよう。101名以上の企業を希望する者の比率を見てみると、県内は41.3%であるのに対し、県外は51.9%と約10ポイントの差がみられる。

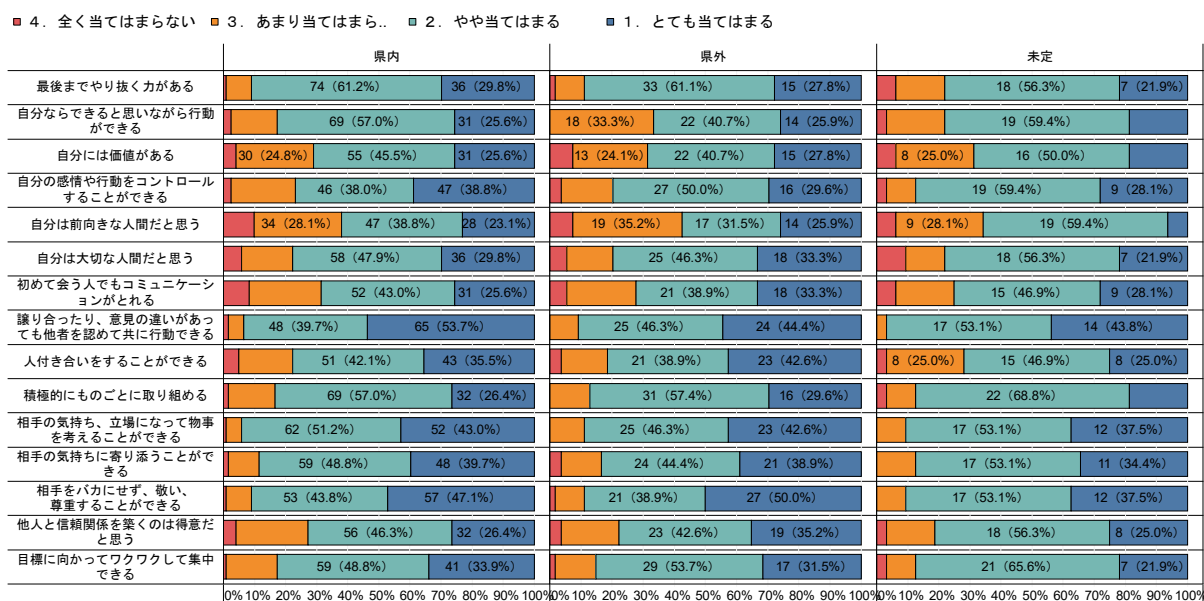


次に、希望する給与（月給）と年収を上記区分別に見てみよう。まず給与（月給）について、県内では「20万円～22万円」が52.9%と過半数を占めているのに対し、県

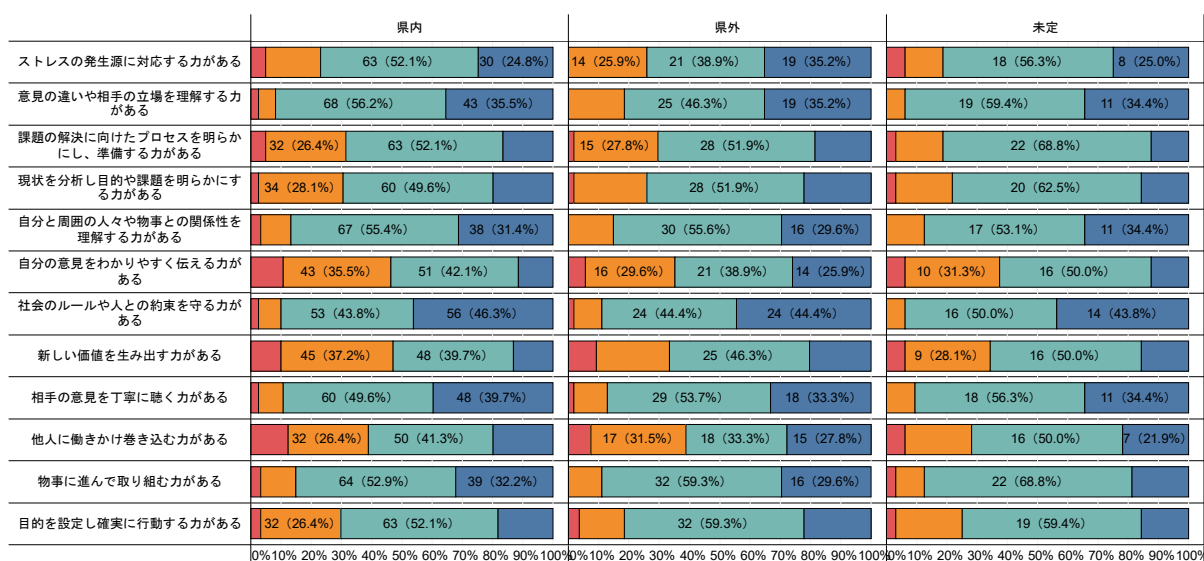
外では 31.5%にとどまっている。その代わりに、「22 万円～24 万円」や「25 万円以上」が、県内より高い比率にあることがわかる。この差は、年収にもあらわれている。県内では「200 万円～299 万円」を希望している者が 41,3%と全体の中で最も多いが、県外では「400 万円以上」が 46.3%と最も多い。この背景には、そもそも女性の方が進路先として県内を優先している傾向にあることもあるが、進路希望先の優先度の違いによって、希望する給与（月給）や年収に差異がみられる傾向にあることは重要なポイントであると思われる。

クロス集計②：希望する進路の場所（県内／県外）×能力意識

本調査では、問 26 および問 27 において、専門学校生の主観的な能力意識について尋ねている。この能力意識が、進路希望先（問 13）によって異なるかを確認するため、両項目のクロス集計を実施した。先ほどと同様、問 13 については、最も優先度が高いとしたのが「県内」か「県外」かによって分類を行っている。



■ 4. 全く当てはまらない ■ 3. あまり当てはまらない ■ 2. やや当てはまる ■ 1. とても当てはまる



「とても当てはまる」+「やや当てはまる」をポジティブな回答、「あまり当てはまらない」+「全く当てはまらない」をネガティブな回答としたとき、両者に10ポイント以上の差がある項目（いずれもポジティブな回答の比率）は、「自分ならできると思いながら行動ができる」（県内：82.6%、県外：66.7%、差：15.9%）、「意見の違いや相手の立場を理解する力がある」（県内：91.7%、県外：81.5%、差：10.2%）、「自分の意見をわかりやすく伝える力がある」（県内：53.7%、県外：64.8%、差：11.2%）、「新しい価値を生み出す力がある」（県内：52.9%、県外：66.7%、差：13.8%）、「目標を設定し確実に行動する力がある」（県内：70.2%、県外：81.5%、差：11.3%）の5つであった。「県内」「県外」の志向性の違いは、問13の学校別の状況で確認したように、学校の所在地による影響も大きい。そのことはまた、個別の学校において行われている教育活動の影響の大きさも意味する。多くの項目において「県内」「県外」ともに類似の傾向を示している中、両者の違いによって比較的大きな差が生じている上記の5つについて、これらの要因も含めた検討が必要になるとと思われる。

4. 総評

本事業は、地方におけるIT人材不足の解消という地域ニーズを背景に、地域の中小企業と連携し「汎用的かつ多様な能力・スキルを強みとし、協働的な働き方でICT技術を駆使して積極的に課題解決に取り組める人材」を育成する学校の構築を目指している。これをふまえ、本調査は、専門学校生の地域就職への意識、就職活動を把握し、カリキュラム開発の中でもキャリア教育・就職スキームの開発知見を得ることを目的に実施されたものである。以下、調査結果の概要を整理する。

まず、回答者の属性について、男性が71.5%、女性が25.6%と男性が大半を占めていた。これは工業系分野の回答者が多いことが影響していると考えられる。また18歳から22歳までの回答者が96.1%となっており、高校卒業後すぐに専門学校へ進学し

た層がほとんどであることがわかる。これはつまり、回答者に社会人入学者等が少ないということでもある。また留学生はほとんど含まれていなかった。

次に進路希望について、回答者の 87.4%が就職を希望しており、現在の段階で「未定」の者を除き、進学を希望している者は少数派であった。就職活動の状況としては「企業説明会に参加した」という段階が最も多い(62.4%)。ただし、本項目は複数回答であるため、より先のステップに進んでいる者が、それ以前の段階も経験したものとして選択している可能性があることに注意が必要である。換言すれば、必ずしも就職活動の現段階を示しているわけではないということである。また、最も優先度の高い進路希望地域は県内(58.9%)であり、専門学校生の地元志向が垣間見える。

就職希望については、情報通信業(31.6%)が最も多く、次いでサービス業(28.6%)が多くなっている。これは、回答者の所属分野の構成比を反映した結果であるといえる。これは希望職種として専門・技術的職業が57.8%となっていることとも関係している。また、勤務形態としては正社員を希望する者が95.2%と大半を占めている。希望する企業規模や初任給、年収についてはそれぞれボリュームゾーンがあるものの、学校ごとや性別ごとに分けてみると差が顕著に見える項目でもあった。

次に仕事選びの基準として、最も重視されているのは「自分の好きな仕事」(66.7%)であった。このほか、「自分の得意が活かせる仕事」(52.2%)や「キャリアが安定した仕事(給与・待遇)」(46.9%)も重視されている。キャリアの安定性については、大切にしている価値観として「お金・経済」(29.0%)が最も優先的に選択されていることとも関係しているであろう。

自己認識や主観的な能力意識については、他者と強調したり他者に共感したりする能力が身につけていると感じる者が多い一方で、他者との関係構築や自己肯定感が相対的に低い傾向がみられた。

次に就職活動への不安については、「理由はないが、焦りや不安がある」(37.7%)が最も多く、学生の多くが漠然とした不安を抱いていることがわかる。他方、「面接で話すことができるか不安」(36.7%)や「自分のアピールポイントがわからない」(35.3%)といった具体的な不安を抱いている者もいる。こうした中、就職活動支援としては「就職ガイダンスや就職に関する授業」(40.1%)、「面接対策の個別指導」(35.7%)、「学内企業説明会の開催」(32.9%)、「クラス担任からの個別相談」(32.9%)などを期待していることがわかる。

最後に、専門学校への満足度については、91.8%の学生が肯定的に評価しており、非常に高いと言ってよい。自由記述をみると、専門知識や専門技術、資格などの習得や就職支援などが評価されていることがわかる。他方、学費の高さや時間の窮屈さ、専門分野以外のいわゆる教養についての学びの不足などを指摘する声もあった。

以上の調査結果のポイントとして、ここでは2点をあげておきたい。

一つは、調査対象の学生は、地域(県内)就職を希望する一方で、キャリア形成のうえでは経済的な安定を重視する傾向にもあるということである。同じ情報系の分野

であっても、県内就職希望者が大半を占める KBC 国際電子ビジネス専門学校(沖縄県)と約半数が県外就職を希望している YIC 情報ビジネス専門学校(山口県)とでは、後者の方がより高い給与や待遇を求めていることが示唆される。

二つ目は、自己認識や主観的な能力意識について、「協調性」や「共感性」は高いものの、いわゆる自己肯定感や他者との関係構築に関わる能力については、上記の能力と比較してそれほど自信を持つことができていないということである。また、自分の意見を伝えるための能力や新たな価値観を生み出す能力についても、苦手意識を持っている学生が少なからず存在していることもわかる。

最後に本調査の結果を踏まえ、本事業の目的を遂行するための提言を行いたい。

第一に、就職支援活動として、地域の中小企業で働くことの魅力やキャリアパスを具体的に提示することが必要となるであろう。調査対象者の多くは地域(県内)での就職を希望しており、いわゆる地元志向が高い状態にあるといえる。他方で経済的な安定性を重視する傾向にもある。それは半面で、経済的な安定性に対する不安が県外への就職のプッシュ要因となる可能性があるということでもあるだろう。そのような不安を解消するために、地域の中小企業の給与水準や福利厚生などに関する情報を積極的に提示しつつ、個々の学生の希望に沿うかたちでの就職支援体制を構築していくことが重要となる。その際には、地域の中小企業との連携も肝要となるであろう。これらの企業との情報交換や意見交換等を通じて、企業側のニーズを把握しつつ、学生側が地域の中小企業に対する理解を深めていくことが求められる。

第二に、学生が苦手と感じている能力意識を補完するような体制を整える必要もあるだろう。今回の調査では、先ほども指摘した通り、相対的に自己肯定感や他者との関係構築に関わる能力に苦手意識を感じている学生が多いことがわかった。こうしたなか、例えば日々の学習の中で小さな成功体験を積み重ねたり、授業中のグループ活動や実習などを通じて身近なところから関係性を構築していったりするような機会を増やしていくことが、学生の苦手意識を提言していくことに繋がる可能性がある。

第三に、就職活動に対して学生が持っている不安を解消していくための体制づくりも重要となる。今回の調査では、学生が就職活動に対して漠然な不安とともに、特に面接対策や自己のアピールポイントの提示の仕方にも不安を抱えていることが明らかとなった。自由記述にも、これらへの対策を求める声がみられている。すでに様々な就職支援活動が実施をされているところであると推察するが、このような学生の声を真摯に受け止めた就職支援体制の見直しがより一層重要になると思われる。

今後、以上の結果を踏まえた具体的な施策の検討や実行が求められるであろう。

付録：専門学校生地域就職意識調査（アンケート調査）質問項目

2025/01/17 13:02

専門学校生地域就職意識調査

専門学校生地域就職意識調査

本アンケートでは現在の就職に対する気持ちや活動、卒業後のキャリアについてアンケートにお答えください。
本アンケートでは、個人情報収集しません。回答した内容は個人の回答がわからないような形で集計・処理して公表します。
また、本アンケートで得られた情報は専門学校のカリキュラム開発のために利用するものであり、それ以外には利用しません。

※本アンケートは、令和6年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」を受託した学校法人 Y I C 学院が行います。

* 必須

1. あなたの性別をお答えください。*

- 男性
- 女性
- 回答しない
- その他

2. あなたの年齢をお答えください。*

3. 現在の居住地(都道府県名)をお答えください。*

4. 以下のうち、専門学校以外で卒業・修了したことのある学校種を全てお答えください。*

- 高等専門学校
- 短期大学
- 大学
- 大学院
- その他

5. あなたは留学生ですか。

※在留資格「留学」により専門学校に通っている場合を指します【研究「家族滞在」「日本人の配偶者等」「永住者」「定住者」等は含みません】。*

- 留学生です
- 留学生ではありません

6. 現在所属する専門学校の学校名をお答えください。*

7. 学科名をお答えください *

8. 何年制の課程に所属していますか？ *

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- その他

9. 現在何年生ですか？ *

- 1年
- 2年
- 3年
- 4年
- その他

10. 現在希望する進路を教えてください *

- 就職
- 進学
- 未定

11. Q 1 0 = 「就職」を選んだ方にうかがいます
現在のあなたの就職活動の状況を教えてください（複数回答可） *

- インターンシップに参加した
- 自己分析を行った
- 他己分析を行った
- 業界・企業研究を行った
- 企業説明会に参加した
- O B ・ O G 訪問をした
- 適性検査を受けてみた
- エントリーシートや履歴書の準備をした
- 就職のための自己啓発をしている
- エントリー・プレエントリー済
- 選考（筆記試験）に進んだ
- 選考（面接）に進んだ

12. Q 1 0 = 「就職」を選んだ方にうかがいます
就職活動はいつから始めましたか？ *

- 入学前
- 1年生春
- 1年生夏
- 1年生秋
- 1年生冬
- 2年生春
- 2年生夏
- 2年生秋
- 2年生冬
- 3年生春
- 3年生夏
- 3年生秋
- 3年生冬以降
- その他

13. 現在希望する進路の場所はどこですか？ *

県内
県外
未定

14. 将来就職する場所はどこが良いですか。優先順位を教えてください *

県内
県外
海外
未定

15. 1番に選んだ場所の理由を教えてください *

--

16. 就職先として現在どんな業種を考えていますか？（複数回答可）*

- 農業、林業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 副業サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務（他に分類されるものを除く）
- その他

17. 将来の就職について現在どんな職種を考えていますか？（複数回答可）*

- 管理的職業
- 専門・技術的職業
- 事務職
- 営業・販売職
- サービス職
- 保安的職業
- 農林漁業作業者
- 生産工程従事者
- 輸送・機械運転従事者
- 建設・採掘従事者
- 運搬・清掃・包装等従事者
- その他

18. 具体的な職業名がある方は職業名を教えてください。*

19. 希望する勤務形態を選択してください。*

- 正社員
- パート・アルバイト
- 自営（家業を除く）
- 家業
- 契約社員・派遣社員
- その他

20. 希望する事業規模（従業員数）を選択してください。*

- 0～5人
- 6～20人
- 21～50人
- 51～100人
- 101～300人
- 301人以上
- 起業・フリーランス

21. 就職する際に希望する初任給はどのくらいですか？*

- 19万円以下
- 20万円～22万円
- 22万円～24万円
- 25万円以上

22. 就職する際に希望する年収はどのくらいですか？*

- 199万円以下
- 200万円～299万円
- 300万円～399万円
- 400万円以上

23. あなたが将来就きたいと仕事を選ぶ基準は何ですか？（複数回答可）*

- 自分が好きな仕事
- 自分の得意が活かせる仕事
- 親や友人に誇れる仕事
- 社会に貢献できる仕事
- マイペースに長く続けられる仕事（家から近い・休みが取りやすい）
- キャリアが安定した仕事（給与・待遇）
- 夢が実現できる仕事
- 趣味・好きなことに関われる仕事
- 自分の力を試せる仕事

24. Q 2 3 でチェックした仕事選びの基準についてなぜそう思うのが簡単に教えてください*

25. あなたが就職先を選ぶ時に優先するものの順番をつけてください*

自分が好きな仕事
自分の得意が活かせる仕事
親や友人に誇れる仕事
社会に貢献できる仕事
マイペースに長く続けられる仕事（家から近い・休みが取りやすい）
キャリアが安定した仕事（給与・待遇）
夢が実現できる仕事
趣味・好きなことに関われる仕事
自分の力を試せる仕事

26. 今の自分について各項目を教えてください。*

	1. とても当てはまる	2. やや当てはまる	3. あまり当てはまらない	4. 全く当てはまらない
最後までやり抜く力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
積極的なものごとに取り組める	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の感情や行動をコントロールすることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分ならできると思いながら行動ができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標に向かってワクワクして集中できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人付き合いをすることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
譲り合ったり、意見の違いがあっても他者を認めて共に行動できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他人と信頼関係を築くのは得意だと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の気持ちに寄り添うことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
初めて会う人でもコミュニケーションがとれる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手をバカにせず、敬い、尊重することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の気持ち、立場になって物事を考えることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分は大切な人間だと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分には価値がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分は前向きな人間だと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

27. 自分の能力について教えてください。*

	1. とても当てはまる	2. やや当てはまる	3. あまり当てはまらない	4. 全く当てはまらない
物事に進んで取り 組む力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他人に働きかけ巻 き込む力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目的を設定し確 実に行動する力 がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現状を分析し目 的や課題を明らか にする力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題の解決に向 けたプロセスを明ら かにし、準備する 力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい価値を生 み出す力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分の意見をわ かりやすく伝える 力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
相手の意見を丁 寧に聴く力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
意見の違いや相 手の立場を理解 する力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分と周囲の 人々や物事との 関係性を理解す る力がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会のルールや人 との約束を守る力 がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ストレスの発生源 に対応する力があ る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

28. これまで、あなたが将来就きたいと思った仕事を選んだ基準は何ですか？（複数回答可）*

自分が好きな仕事
自分の得意が活かせる仕事
親や友人に誇れる仕事
社会に貢献できる仕事
マイペースに長く続けられる仕事（家から近い・休みが取りやすい）
キャリアが安定した仕事（給与・待遇）
夢が実現できる仕事
趣味・好きなことに関われる仕事
自分の力を試せる仕事

29. Q 2 8 でチェックした仕事選びの基準についてなぜそう思うのか簡単に教えてください*

--

30. あなたが大切にしているもの、大切にしていきたいものについて、1番を最大にして順位をつけてください*

仕事・キャリア
お金・経済
健康
家族・パートナー
人間関係
学び・自己啓発
遊び・余暇
物理的環境（住居・土地柄など）

31. 卒業した高等学校・高等専修学校の学科をお答えください。*

- 高等学校普通科
- 高等学校商業科
- 高等学校工業科
- 高等学校農業科
- 高等学校家庭科
- 高等学校福祉科
- 高等学校看護科
- 高等学校水産科
- 高等学校情報科
- 高等学校総合学科
- 高等専修学校
- その他

32. 専門学校に入って当該学科で目指す資格取得をしましたか*

- 取得した
- 取得予定
- 取得していない
- わからない
- 学んだ学科では該当するものはない

33. 就職活動で不安なことはありますか？（複数回答可）*

- 就職活動の仕方がわからない
- いつから就職活動に取り組むのかわからない
- 自分のやりたいことの見つけ方がわからない
- 理由はないが、焦りや不安がある
- エントリーシートや履歴書の書き方がわからない
- 自分のアピールポイントがわからない
- 今までアルバイトをしたことがない
- 周囲の人と比べて不安になる
- お金が就活でいくらかかるのか不安
- 面接の正解がわからず不安
- 服装・髪型・メイクなどの正解が分からず不安
- 面接で話すことができるのか不安
- 学校の支援体制が不安

34. 選択肢以外に就職活動で不安なことはありますか？*

35. 今後、所属校に対して就職活動支援で期待することはありますか？（複数回答可）*

- 就職ガイダンスや就職に関する授業
- クラス担任からの個別相談
- 学内企業説明会の開催
- 履歴書の書き方などの全体指導
- 履歴書の書き方などの個別指導
- 面接対策の全体指導
- 面接対策の個別指導
- インターンシップ実習でのマッチング指導
- 身だしなみや立ち振る舞いの授業

36. 選択肢以外で就職活動支援で欲しいことはありますか？ *

37. 専門学校に入って良かったと思いますか？ *

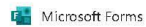
- とても良かった
- まあ良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった

38. 専門学校に入って良かったと思う点を教えてください *

39. 専門学校に入って悪かったと思う点を教えてください *

40. ご協力ありがとうございました。最後に、アンケートについて、何かご意見があればご記入ください

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。



文部科学省委託事業令和6年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等
推進事業」『地域中小企業と連携によるIT担当者育成・採用促進モデル開発と普及
推進事業』

「専門学校生地域就職意識調査（アンケート調査）」報告書

令和7年2月

学校法人 YIC 学院

〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。